Panasonic

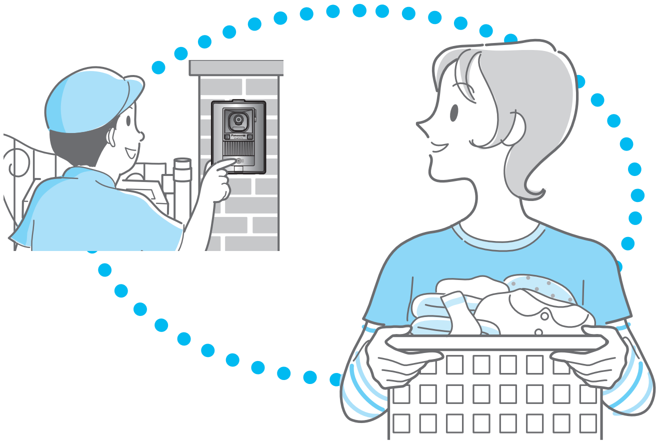
はじめに、必ず お読みください

ドアホン親機編

取扱説明書

製品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン※	パーソナルファクス付 テレビドアホン※
品番	ブイエル エスダブリューエヌ ケイエル VL-SWN350KL	ブイエル エスダブリューエヌ ケイエル VL-SWN355KL

※電源コード式





VL-V521L



VL-MWN350KL

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

工事説明書 別添付

保証書 別添付

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

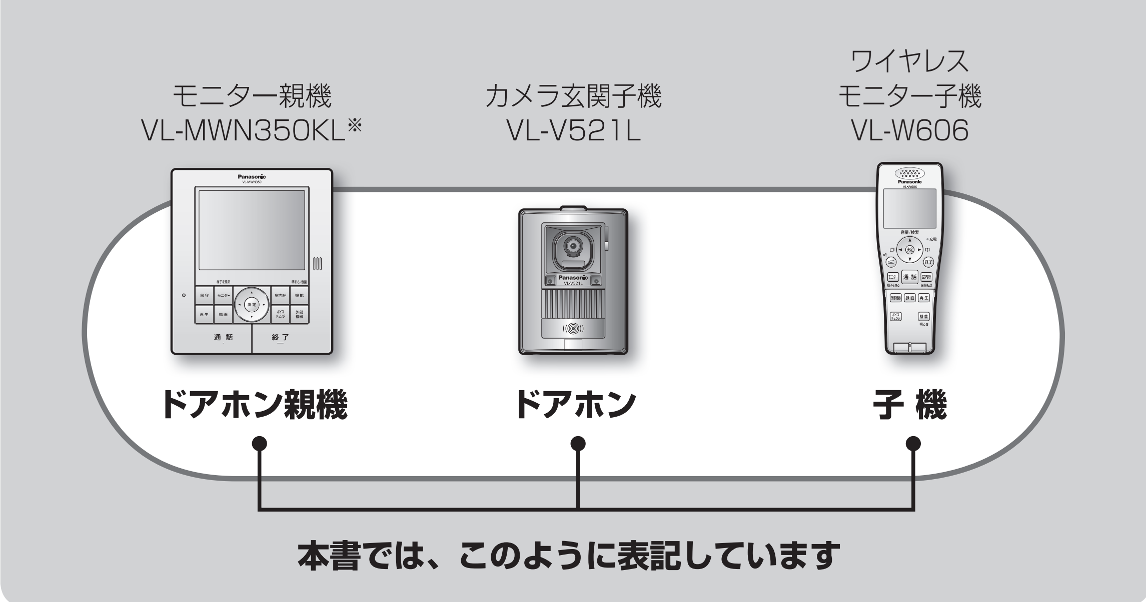
■**ご使用前に「安全上のご注意」(10、11ページ)を必ずお読みください。**

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

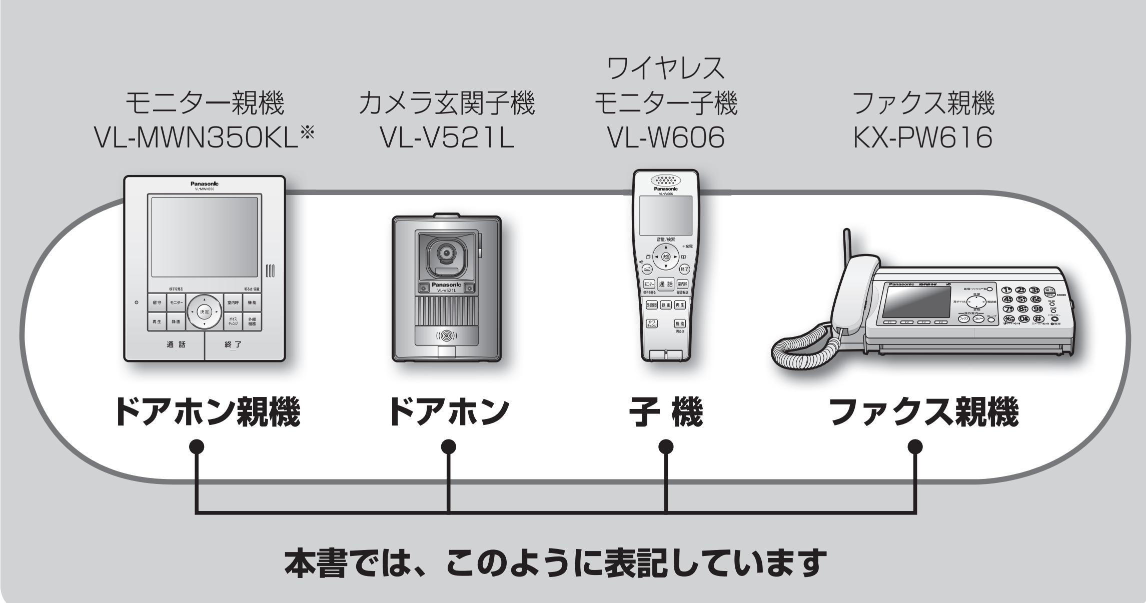
はじめに

本書は、VL-SWN350KLとVL-SWN355KLの2機種を共用して説明しています。
また、説明書は各機器ごとに分かれていますので、ご使用になる機器の説明書をお読みください。（☞ 9ページ）

VL-SWN350KLの構成



VL-SWN355KLの構成



※ドアホン親機の表面には「VL-MWN350」と表示されています。

お問い合わせの多い機能を探しやすくしました

（詳しいもくじは6ページへ）

別売品



- ●子機は、付属と合わせて**6**台まで。
- ●玄関子機（ドアホン）は、付属と合わせて**3**台まで。

使いかた

- ●VL-SWN355KLの場合、ファクス親機と子機で内線通話することもできます。（☞「ファクス親機編」33ページ）

よくあるご質問

付属の子機は、電話の子機として使えるの？

■VL-SWN350KLの場合、子機を別売の電話/ファクスに登録（増設）すれば使えます。増設できる電話/ファクスや増設のしかたは（☞「子機編」18、19ページ）

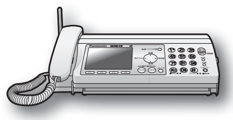
■VL-SWN355KLの場合、既に付属のファクス親機に登録されていますので、接続や充電などの準備が終われば、すぐに電話の子機としても使えます。

カメラなし（音声のみ）の玄関子機は接続できる？

■接続できません。接続できる玄関子機は（☞ 83ページ）

〈VL-SWN350KLの場合のみ〉

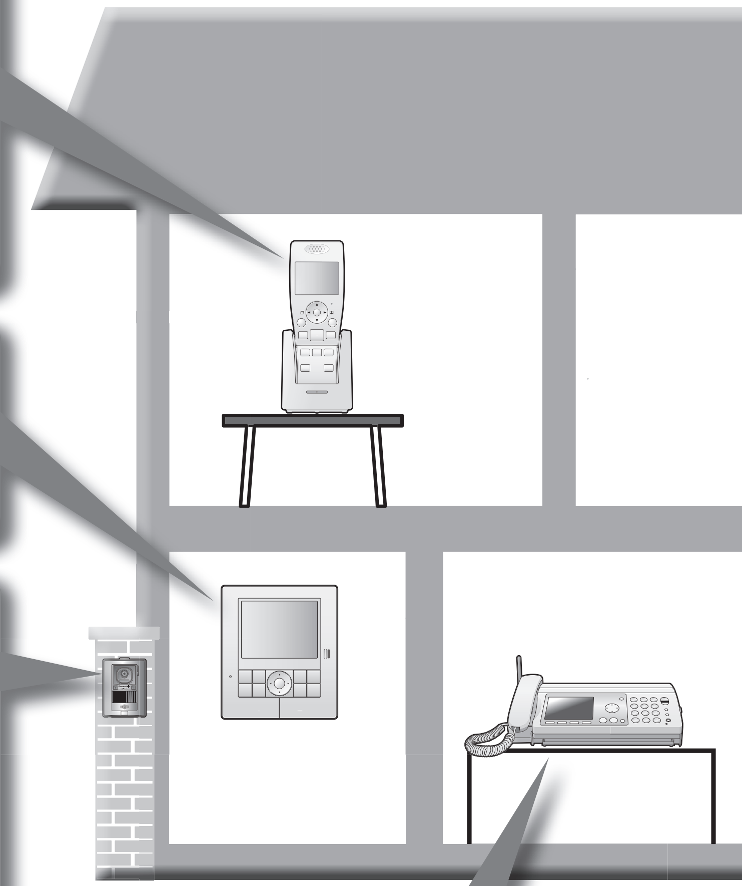
電話/ファクスを接続して ドアホンと通話したい！



■ワイヤレスアダプター機能対応、またはドアホンアダプター対応の電話/ファクスをドアホン親機に接続してください。接続できる機種は（☞ 55ページ）

■ワイヤレスアダプター機能対応の電話/ファクスなら、ドアホン親機との間を無線で接続できるので、別売のドアホンアダプター（VE-DA10-H）は不要です。
ドアホン親機と電話/ファクスで、ワイヤレスアダプターの設定をしてください。
（☞ 56ページ）

こんなことができます



子機（ドアホン/電話両用）

ドアホンの子機としてだけでなく、
電話の子機としても使えます。※1

- 別売品をあと **5台増やせます。**
  品番：VL-W606（付属と同仕様）

※1 VL-SWN350KLの場合、別売の電話/ファクスへの増設が必要

ドアホン親機

画面が大きく、離れた位置でも来客の映像を確認できます。
また、在宅中や留守中に録画もできます。

ドアホン

付属のドアホンはLEDライト付きなので夜など暗いときも来客をカラーで映します。

- 別売品をあと **2台増やせます。**
  品番：VL-V521L-S（付属と同仕様）
- VL-V564-K/VL-V565-K（露出型）、VL-V552-S（埋込型）も接続できますがLEDライトは付いていません。

電話/ファクスでドアホンと通話する※2 VL-SWN355KLにはファクス親機が付属

（VL-SWN350KLは、別売の電話/ファクスへの接続が必要です ☞ 55ページ）

電話やファクスとして使えるほか、ドアホンとの通話もできます。

- VL-SWN350KLの場合、インターホンの接続もできますが接続はどちらか **1台のみ。**

こんな機器にもつながります（品番など詳しくは ☞ 83ページ）

■ 火災警報器、外部センサー、地震警報器

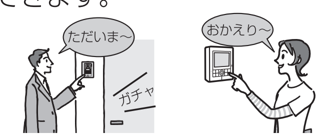
火災警報器などのセンサーが反応すると、ドアホン親機や子機にも警報音や画面表示でお知らせします。

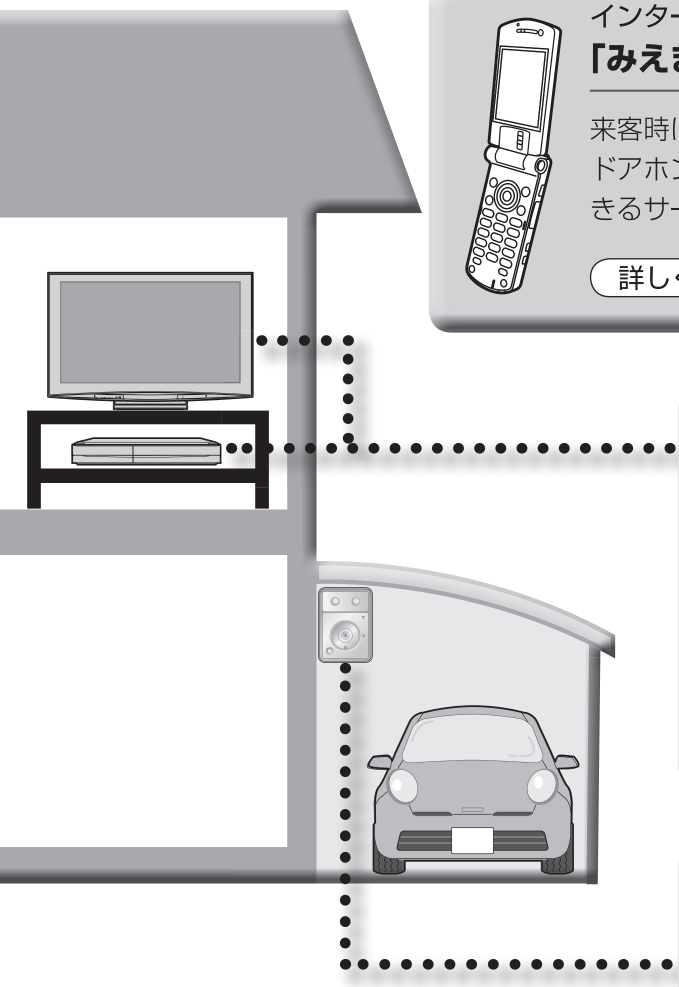
- 接続は、いずれか **1種類のみ。**

■ 電気錠やエアコン

ドアホン親機や子機で、電気錠やエアコンなどの操作ができます。

- 接続は **2台まで。**





インターネットに接続して
「みえますねっとLite」サービス(有料)を使う

来客時に自動録画され、専用のサーバーに転送されたドアホン画像(静止画)を、携帯電話から見ることができるサービスです。

詳しくは☞ 34ページ

テレビ(ビエラ)やレコーダー(ディーガ)をつなぐ

ドアホンの映像をテレビに表示したり、レコーダーに録画できます。

- テレビは **2**台まで。
- レコーダーは **1**台のみ。

対応機種など詳しくは☞ 69ページ

カメラ(センサーカメラ)をつなぐ

ドアホン親機や子機で、カメラの映像を見たり、録画ができます。

- **4**台まで。

対応機種など詳しくは☞ 60ページ

※2 電話/ファクスで対応できるドアホンは2台までです。
3台目のドアホンを増設した場合、電話/ファクスでは3台目のドアホンとの通話はできません。

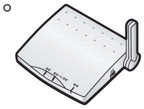
■ 光るチャイム、メロディサインなど

来客時に音や光でお知らせします。
別売のカメラ接続時には、カメラのセンサー反応時も連動します。

- 接続は、いずれか **1**台のみ。

■ 中継アンテナ

子機の設置場所が離れていたり、障害物などで電波が届きにくいときに設置すると、電波状態を改善できます。



- **2**台まで。

もくじ

お好み設定

音の設定

機能設定一覧表……44

別売機器との連携

さらに便利に…

カメラを使う……60

別売機器との連携

テレビやレコーダーを使う……69

子機を増やす（増設）……76

必要なとき

困ったとき

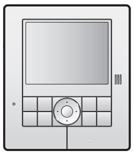
困ったとき……84

こんな表示が出たら……95

付属品・添付品を確認する

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

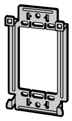
付 属 品



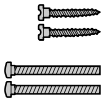
ドアホン親機用

ドアホン親機の背面にあります。

□ **壁掛け金具**................ 1個



□ **壁掛け用木ねじ・小ねじ**
.... 各2個

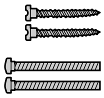




ドアホン用

ドアホンの包装袋に添付しています。

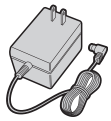
□ **壁掛け用木ねじ・小ねじ**
.... 各2個



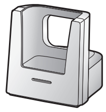


子 機 用

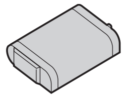
□ **ACアダプター**
（長さ約1.8 m）
.... 1個



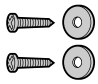
□ **充電台**
.... 1台



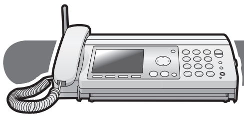
□ **電池パック**※1
.... 1個



□ **充電台壁掛け用木ねじ・ワッシャー**
.... 各2個

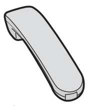


※1 お買い上げ時は、子機裏面に取り付けられている電池カバーを外してから、電池パックを入れてください。（☞「子機編」16ページ）

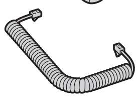


ファクス親機用 VL-SWN355KLのみ

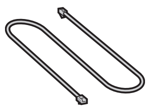
□ **受話器**...................... 1本



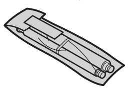
□ **受話器コード**.......... 1本



□ **電話機コード**
（長さ約1.8 m）....... 1本



□ **お試し用インクフィルム**
（約10 m）................ 1式



添 付 品

取扱説明書

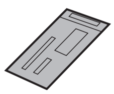
☑ ドアホン親機編（本書）................ 1冊
□ 子機編 1冊
□ ファクス親機編※2 .... 1冊

□ **工事説明書**................................ 1部
□ **簡単ガイド**................................ 1部
□ **みえますねっとLiteガイド**.... 1部

□ **QRコードシール**※3 .... 1枚
（ドアホン親機の表面にはり付け）



□ **保証書** 1式



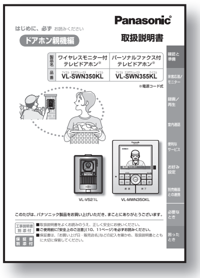
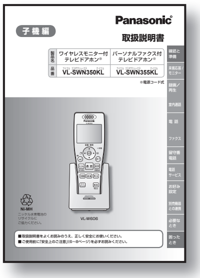
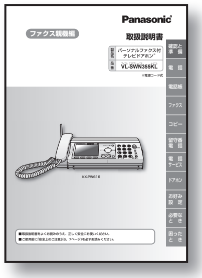
□ **お試し用普通紙**※2.... 1式

※2 VL-SWN355KLのみ。
※3「みえますねっとLite」サービス（有料）の登録時に使用します。（☞ 35ページ）
ドアホン親機からはがして、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

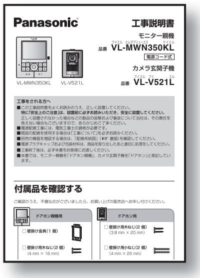
説明書の構成と読みかた

下記のように分かれていますので、それぞれの記載内容をご確認のうえ、用途にあった説明書をお読みください。

◆取扱説明書

ドアホン親機編 （本書）	子機編	ファクス親機編 VL-SWN355KLのみ
 	 	
機器ごとに分かれています。各機器で必要な準備や使える機能などが異なりますので、ご使用になる機器の説明書をお読みください。		

◆工事説明書（工事をする方がお読みください）



● ドアホンとドアホン親機の設置工事のしかたを記載しています。

◆みえますねっとLiteガイド



●「みえますねっとLite」サービス（有料）の概要と登録のしかたについて記載しています。
サービスをご利用の際は、本書の34～40ページと合わせてよくお読みください。

◆簡単ガイド

● 本機の基本的な使いかたを記載しています。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

（禁止）	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
（強制）	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

●金属物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

■医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 警告

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■指定以外の機器は接続しない

禁止

火災・感電の原因になります。

■ケーブルを引っ張ったり、ぶらさがったり、コネクター部に無理な力を加えない

禁止

機器の破損、または落下によるけがの原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■雷が鳴ったらドアホン親機・電源コード・電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

使用上のお願い

こんなところには設置しない

● **火気・熱器具の近く**
（変形や故障の原因）

● **テレビ・電子レンジ・パソコンの近く**
（電波干渉による誤動作の原因）

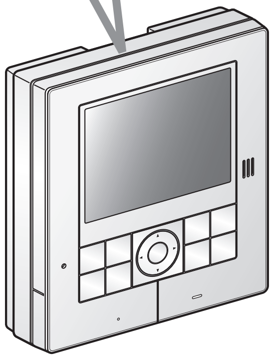
● **直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く**
（40 ℃以上、0 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）

● **温度変化が激しいところ**
（結露による誤動作の原因）

ドアホンやドアホン親機の設置場所は、工事説明書をよくお読みください

お願い

● 寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、しばらく放置してから接続、使用してください。



ドアホン親機

ドアホン親機・子機・電話/ファクス親機※1間の通信には電波を使うため、各機器の距離や設置場所にご注意ください

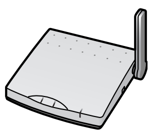
● 各機器間に何も障害物がない場合、それぞれ見通し約100 m以内の距離で使えます。

● **距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなり、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。**

- 金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 壁を何枚もへだてたところ
- 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき

↓

このような場合、子機とドアホン親機（または電話/ファクス親機）の間には、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。（☞ 77、83ページ）
ただし、**ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。**※2



中継アンテナ

電波を使う機器から離す

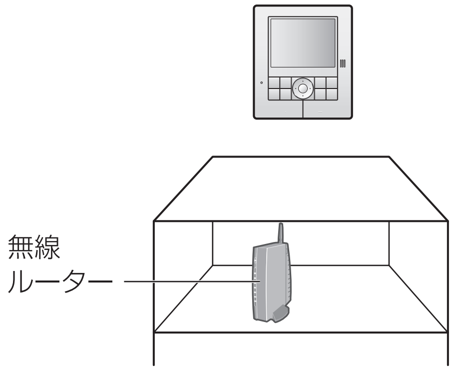
電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはドアホン親機・子機・電話/ファクス親機※1とも約3 m以上離してください。

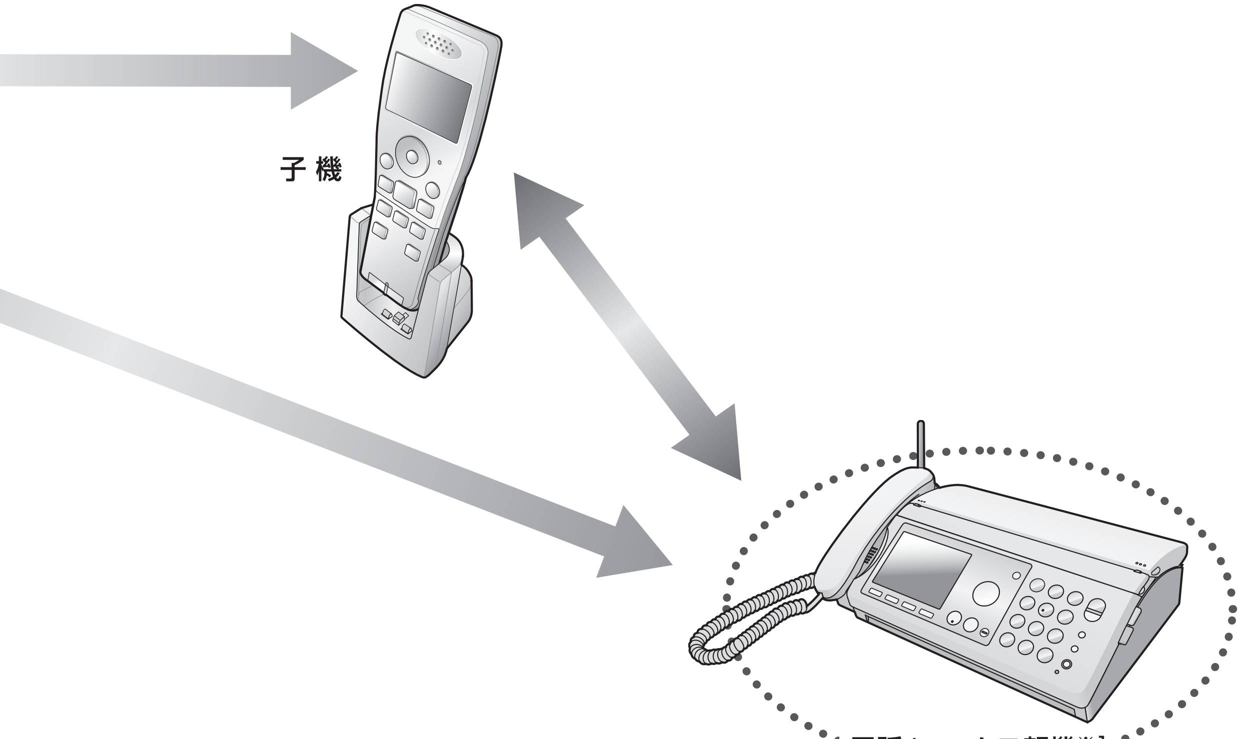
- **電子レンジ**
- **無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）**
- **ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）**

その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- デジタルコードレス電話機/ファクス
- その他、Bluetooth® 対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

（例：無線ルーターの設置）
離して置けないときは、上下に置くと影響を軽減できることがあります。





※1 VL-SWN350KLの場合、別売の電話/ファクスに増設時のみ。
※2 **親機間の電波が弱いと、電話/ファクス親機でのドアホン通話や、子機の電話機能が使えないことがあります。**
ドアホン親機と電話/ファクス親機間の電波状態を見るには（☞ 81ページ）

使用上のお願い（つづき）

電波について

● **本機は、2.4〜2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。**
移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

● **本機の使用周波数に関わるご注意**
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（☞ 98ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞ 98ページ）へお問い合わせください。

プライバシー・肖像権について

● ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

その他

● 分解・改造することは法律で禁じられています。
（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）
● 停電すると本機は使えません。
● 工事説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
● 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しを販売店にご相談ください。

ドアホン親機を廃棄・譲渡・返却するとき

● お客様固有の情報の流出による、不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や、録画・録音など）を消去してください。
• ドアホン親機の情報を消去 ➔ 48ページ「設定の初期化」で「設定の初期化＋全画像を消去」を行う

セキュリティに関するお願い

LANケーブル(市販品)を使って、本機と別売のカメラ・テレビ・レコーダーを接続したり、
本機をインターネットに接続して「みえますねっとLite」サービス(有料)を利用するときは
下記の注意が必要です。

● **イーサネット上で送受信される映像などのデータは、暗号化されていません。**
本機をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。
- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい(ドアホン映像データなどの通信内容)
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

● **本機をご使用になる場合は、十分なセキュリティ対策を行ってください。**
セキュリティ対策は下記のとおりです。
〔本機をインターネットに接続している場合〕
- ルーターの取扱説明書に従って、適切なセキュリティ設定(ファイアウォール設定など)を行う
- 無線LANをお使いの場合は、無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行う

※セキュリティに関する設定を行わずに使用した場合に生じる問題を、十分理解されたうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN製品を使用されることをおすすめします。

● **セキュリティに関する設定を行わずに使用された場合に発生した、セキュリティの問題および、これによって生じた損害に対し、当社は責任を負いかねます。**

● **以下のような場合は、本機を初期化してください。(****☞ 48ページ****)**
- 当社が関与できない外部業者に、修理を依頼されるとき
- 他人に譲渡するとき
- 本機を廃棄するとき

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

各部のなまえとはたらき　ドアホン親機

液晶ディスプレイ

● 映像などを表示する（☞ 17ページ）

留守 ● 留守設定/解除する（☞ 26ページ）

留守ランプ（赤）
留守設定中：点灯
新しい留守録画あり：点滅

様子を見る
モニター ● ドアホンや別売のカメラ側の様子を見る（☞ 23、63ページ）

モニターランプ（赤）
モニター中：点灯

再生 ● 録画した画像を再生する（☞ 30ページ）

再生ランプ（青）
新しい自動録画あり：点滅

録画 ● 表示中の映像を録画する（☞ 25、65ページ）

室内呼 ● 子機を呼び出す（☞ 22、33ページ）

明るさ/音量
機能 ● 明るさや音量を変える（☞ 21、41ページ）
● 機能設定をする（☞ 44～49ページ）

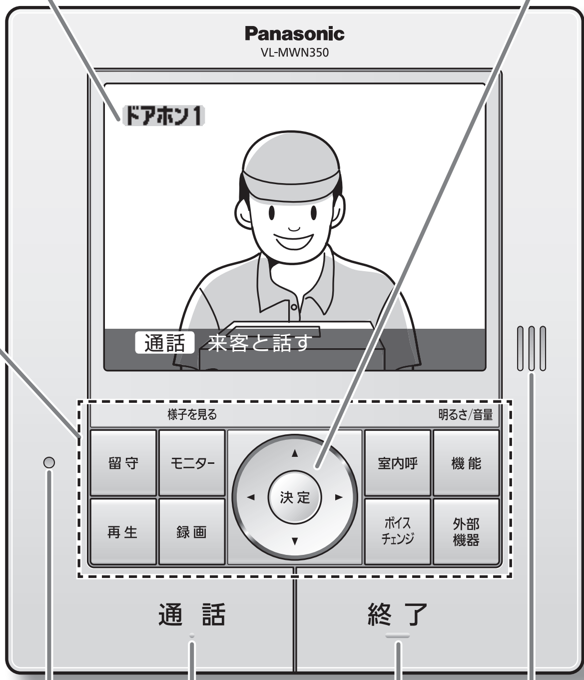
ボイスチェンジ ● 自分の声を低く変える（☞ 21ページ）

ボイスチェンジランプ（赤）
ボイスチェンジ中：点灯

外部機器 ● 電気錠など、接続した外部機器を操作する（☞ 54ページ）

外部機器ランプ（青）
接続機器が1台のみ※で、
施錠/ONのとき：点灯

※接続機器が2台の場合は、常時消灯します。



マイク

終了ボタン

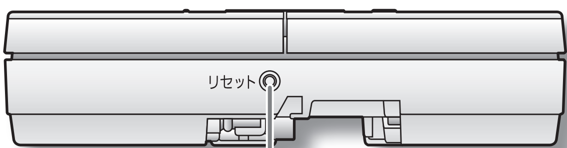
● 通話などの操作を終わる

スピーカー

通話ボタン／ランプ（青）

● 通話する（☞ 20ページ）
● ドアホンや子機からの着信中はボタンの中央付近が点滅し、通話中は点灯する

■ 下から見たとき



リセットスイッチ

● ドアホン親機を再起動する（☞ 88、90、94ページ）

マルチファンクションキー

●項目の選択などに使う
●操作ガイドで表示された操作をする（☞ 下記）

本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

（**上**または**下**を押す） （**左**または**右**を押す） （**決定** を押す）

液晶ディスプレイ（モニター画面）の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

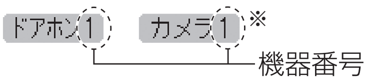
■通話・モニター中の画面

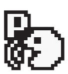


① 着信中･通話中･モニター中は、相手の機器名、画像再生中は、撮影した機器名を表示する



② 通話中・モニター中に別の機器から呼び出しがあったとき、呼び出してきた機器名を表示する（☞ 80ページ）



③  プレストーク通話中に表示する（☞ 21 ページ）

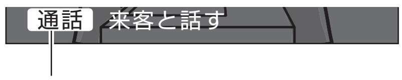
④ 電気錠やエアコンなどの機器を接続し、ドアホン親機に登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する（☞ 54ページ）

※別売のカメラを増設時のみ。

操作ガイド

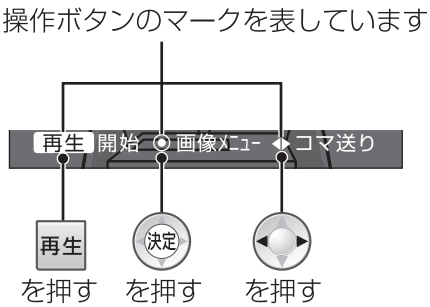
●画面ごとに、有効な操作と操作ボタンのマークを「操作ガイド」として表示する

〈ドアホン着信中の場合〉



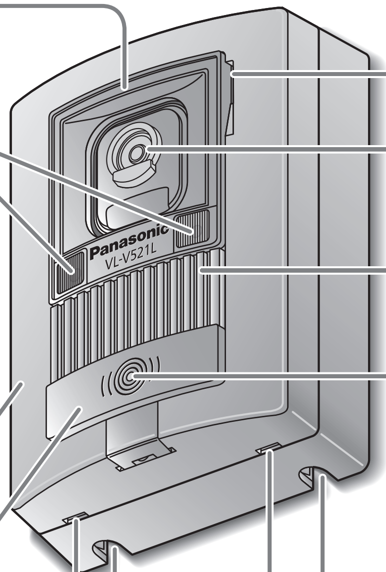
例）来客と話すときは 通 話 を押すことを意味しています

〈録画再生中の場合〉



●上記の表示は一例で、操作する画面ごとに変わります。
●着信中やモニター中の操作ガイドは、を押すごとに表示/非表示ができます。

各部のなまえとはたらき　ドアホン



レンズカバー

LEDライト

〔暗いときでもカラー撮影ができる照明用のライト〕

●「ドアホン照明自動点灯」設定（☞ 47ページ）により自動で点灯したり、通話中などドアホン親機や子機から手動で点灯/消灯させることもできる

パネル

呼出ボタン

●押すと呼出音が鳴る

●押し続けながら話すと、下記の**「ただいまコール」**がはたらく

マイク

カメラレンズ

スピーカー

位置表示ランプ

●暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

水抜き穴（4か所）

●雨水を抜くための穴です
ふさがないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。



①呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかける

●ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます

●室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます



②終わったら、**指を離す**

お知らせ　● ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定（☞ 41ページ）に連動します。

ドアホンの画質について

下記のような場合がありますが、故障ではありません。

- 昼間など、ドアホンの周囲が明るいとき、来客の服装（色など）によっては色味が異なって映る
- 夜間などドアホンの周囲が暗くなってくると、色味が落ちる（LEDライト消灯時のみ）
  また、外灯などで明るいところや白い壁が緑っぽく映る

確認と準備

日付・時刻の設定

ドアホン親機には録画機能があります。下記の設定をしないと、録画日時（☞ 31ページ）が記録されません。
（時刻は1か月に約60秒ずれることがあります）



1

機能 を押し、 で

[日時の設定]を選ぶ

機能設定

日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定

2

決定 を押し、日時を設定する

：年・月・日・時・分の項目を選ぶ

：数字を選ぶ
（押し続けると数字が早く切り替わる）

（設定例）

日時

2008 年 7 月 1 日 12:00

3

設定が終わったら、

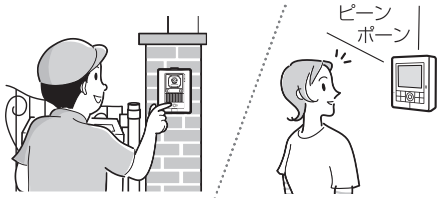
決定 を押す

- 「ピー」と鳴り、手順1の画面を表示する

4

終 了 を押す

呼び出しに応答する



呼び出してきたドアホン※



※名前の変更ができます。
（☞ 47ページ「ドアホンの名前」）

1

ドアホンから呼び出しがあると

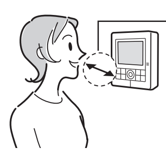
呼出音が鳴り、相手の映像が映る

● **逆光で顔が暗く映って見えにくいとき**
➔ 21ページの「逆光補正」をすると、見えやすくなります

2

応答する（相手と話す）には

［通 話］を押す



約50 cm以内で
相手と交互に話す
●同時に話すと声が途切れる

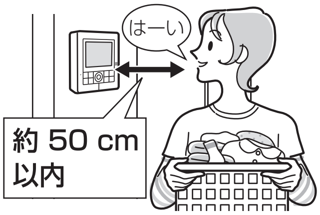
3

終わったら、［終 了］を押す

ボタンを押さずに声で応答する（音声応答）

「音声応答」の設定を「ON」（☞ 44ページ）にすると、声で応答できます。

①呼出音が鳴ったら、声で応答する（相手には聞こえない）



●「ピッ」と鳴ったら、話ができる
●周囲の音（☞ 下記）に反応して応答してしまうことがあります
- ペットの鳴き声やテレビ
- 子機の呼出音（子機を近くに置いているとき）

お知らせ

● **着信時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。（☞ 24ページ）**
●呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
●ただいまコール（☞ 18ページ）の場合は、応答しなくても呼出音に続けて相手の声が聞こえますが、相手と通話したいときは［通 話］を押してください。（音声応答はできません）
● **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 80ページ）**

通話中・モニター中の機能

画面の明るさを変える

明るさ/音量 [機能] を押す → で[明るさ]を選ぶ → で変更する → 明るさ/音量 [機能] を押す

受話音の大きさを変える

明るさ/音量 [機能] を押す → で[音量]を選ぶ → で変更する → 明るさ/音量 [機能] を押す

ドアホンの逆光補正をする

明るさ/音量 [機能] を押す → で[逆光補正]を選ぶ → で[ON]にする → 明るさ/音量 [機能] を押す

- 別売のドアホンで逆光補正機能がない場合、この操作はできません

ドアホンのLEDライトを点灯/消灯する

明るさ/音量 [機能] を押す → で[照明]を選ぶ → で[ON]または[OFF]にする → 明るさ/音量 [機能] を押す

- 別売のドアホンでLEDライトがない場合、この操作はできません

録画・録音する

[録画] を押す

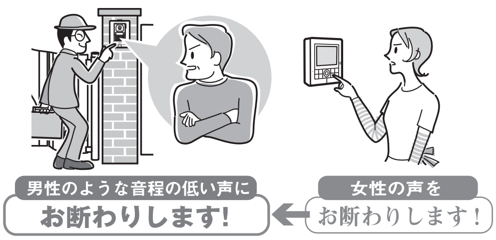
- 詳しくは(☞ 25ページ)

自分の声を低く変える(ボイスチェンジ)

- 通話中のみ

[ボイスチェンジ] を押す(ランプ点灯)

- 再度押すと消灯し、元の声に戻る
- 声の高さは、設定により変更できる(☞ 45ページ)



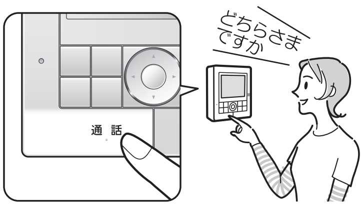
送話と受話を切り替えて話す(プレストーク通話)

- 自分や相手の周囲が騒がしく通話しにくいときに

「ピッ」と鳴るまで [通 話] を約2秒間押す(画面に と表示)

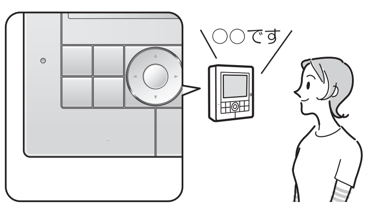
■話すとき(送話)

[通 話] **を押したまま話す**



■聞くとき(受話)

[通 話] **から指を離す**



- [通 話] を押している間は、相手の声が聞こえません

お知らせ

- ボイスチェンジやプレストーク通話は、通話終了後に解除されます。

通話を転送する



ドアホンとの通話は、付属の子機など
ドアホン機能が使える子機にのみ転送できます。

● VL-SWN355KLの場合、ファクス親機への転送はできません。

転送する側	受ける側
1 ドアホン通話中に、 **[室内呼] を押し、転送先の子機に呼びかける** ● ドアホンの映像が消え、通話ランプが点滅	「プー」音や呼びかけが聞こえたら、 **[通話] を押して話す**
2 子機が出たら、 **通話を転送することを伝え、[終了] を押す** ● 子機との通話が切れ、子機がドアホンと通話できる	ドアホンの映像が映ったら、 **ドアホン側の相手と話す** ● 終わったら、[終了] を押す







> **■子機からの転送をドアホン親機で受けるとき**
> 上記の「受ける側」の操作を行う

お知らせ

● **子機が2台以上あるときは、手順1の操作ですべての子機が一斉に呼び出されます。**
44ページの「室内呼」の設定を「一斉/個別」に変えておくと、下記の手順で**個別呼び出し**をして転送できます。

① ドアホン通話中に [室内呼] を押し、[◇] で転送先の子機を選ぶ

② [決定] を押し、呼びかける
➔ 指定した子機にだけ呼びかけが聞こえる

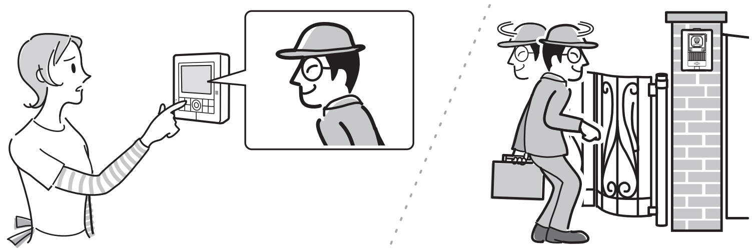
③ 子機が出たら、通話を転送することを伝え、
[終了] を押す
➔ 子機がドアホンと通話できる

(例)

ドアホン 1 転送中
一斉
子機 1
子機 2
子機 3
子機 4

● 子機が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには ➔ [通話] を押す
● 子機と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。

ドアホン側の様子を見る（ドアホンモニター）



モニター中のドアホン※



■モニター中の機能
（☞ 21ページ）

※名前の変更ができます。
（☞ 47ページ「ドアホンの名前」）

1 **モニター を押す**

- 映像が表示される
- 下記の画面が出たときは、（上下キー）でモニター先を選び、（決定）を押す

機器選択
ドアホン１
ドアホン２
ドアホン３

ドアホンの名前を変更したときは、その名前を表示（☞ 47ページ）

選択した場所の映像が表示される

ドアホンモニター中は…

映像とともに周囲の音が聞こえますが、こちらの声はドアホン側には聞こえません。

- ドアホン側の相手と話すには
  通 話 を押す

2 終わったら、
終 了 を押す

お知らせ

- モニターは約90秒で自動的に終了します。
- **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 80ページ）**

録画・録音機能について

下記のように録画ができ、録画した画像は最大100件までドアホン親機に記録できます。

● 100件中の25件は録音もでき、音声付き画像として記録されます。

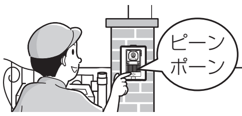
録画の方法		機能の概要	録音件数	録画件数
在宅のとき	**自動録画**（☞ 下記） 留守ランプ **消灯**	来客があるたびに、映像を自動で録画する機能です。 （お買い上げ時の設定「ON」） ● **録音はできません。**	–	**最大** 100件 ※
	手動録画 （☞ 25ページ）	着信中・通話中・モニター中に、映像を見ながら手動で録画する機能です。 ● **通話中・モニター中は、同時に録音もされます。**	**最大** 25件	
留守のとき	**留守録画** （☞ 26ページ） 留守ランプ **点灯**	あらかじめ留守設定することにより、留守中の来客映像を「留守録画」として自動で録画する機能です。 ● **設定により、相手の用件の録音もできます。**		

※お買い上げ時の設定では１件につき８枚を録画するので、最大800枚の録画ができます。
　画質を優先したいときは、45ページの「ドアホン録画数」の設定を「1枚」に変更してください。

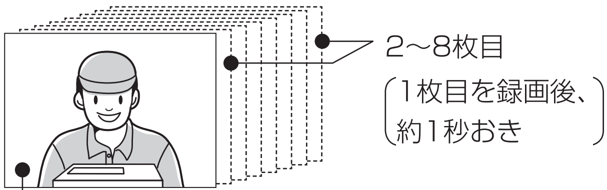
● **録画や録音がいっぱいになったとき（☞ 29ページ）**

在宅時の自動録画について

ドアホンから呼び出しがあると、応答する/しないに関わらず自動的に録画します。

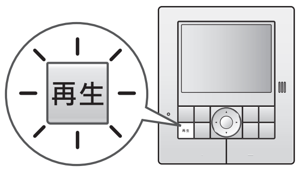


相手の映像が自動録画される（お買い上げ時: ８枚）



応答しなかったとき…

録画した画像は未再生画像となり、再生ランプが点滅する



（再生は ☞ 30ページ）

● 子機は、待ち受け画面に  が表示されます。

お知らせ

● 呼び出しに応答した場合、録画した画像は再生済み扱いになります。

● 通話中・モニター中にドアホンから呼び出しがあったときは、呼び出しに応答しないと録画されません。

● 8枚録画の場合、録画中に別の機器から呼び出しがあると、録画が中断され、1件あたりの録画枚数が少なくなることがあります。（最低1枚は録画されます）

● 再生ランプが点滅しないようにしたり、自動録画しないように設定することもできます。
（☞ 45ページ「再生ランプ点滅」、46ページ「ドアホン自動録画」）

在宅時に手動で録画・録音する

着信中・通話中・モニター中のドアホン映像を、必要に応じて録画できます。

- ドアホン通話中やモニター中は録音もされるので、音声付きの画像として録画できます。
- 録音時間は約20秒間（固定）です。



1 映像表示中、録画をしたいときに

録画 を押す

例）



録音中：音声付き画像の録音中に表示され、終了すると消える

録画中：画像のみの録画中に表示され、終了すると消える

お知らせ

- 「ドアホン録画数」の設定が「8枚」の場合、録画時に約1秒おきの映像を8枚録画します。
  8枚録画の場合は画質が粗くなりますので、画質を優先したいときは、「ドアホン録画数」の設定を「1枚」に変更してください。（☞ 45ページ）
- 手動で録画した画像は、再生済み扱いになります。（再生は ☞ 30ページ）
- 次の場合は録音ができないため、通話中やモニター中でも、画像のみを録画します。
  （☞ 29ページ）
  - すでに録画された画像の中に、未再生の音声付き画像（留守録画）と保護設定した音声付き画像が合計25件あるとき（留守ランプが速く点滅しています）
- 録音中に別の機器から呼び出しがあったとき、呼び出しに応答すると録音が中止されます。

留守設定して録画・録音する

留守設定すると、留守中のドアホン映像を「留守録画」として記録し、留守ランプの点滅でお知らせします。また留守録画は、ドアホン親機の留守ボタンを押すだけで自動再生されます。

●留守録画時に、応答メッセージを流して相手の用件を録音(最大25件)することもできます。(お買い上げ時の設定：応答メッセージを流さず、画像のみを録画)

お出かけ前に、留守設定する

1 留守 **を押す**（留守ランプが点灯する）

応答メッセージ：なし
記録　　　　　：画像のみ
機能　設定を変更する

●現在の設定内容に応じた音声案内が流れ、留守設定される

- 用件を録音したいときなど、設定を変更するには ➔ 手順2へ
- 現在の設定でよければ ➔ 手順3へ

2 設定を変更するとき

① 機能 **を押し、**（十字キー）**で設定したい項目を選ぶ**

応答メッセージ	記録
● なし	画像のみ
あり（固定）	画像と音声
あり（自作）	画像と音声

自作応答録音時(☞ 28ページ)のみ表示

●応答メッセージ「あり」を選んだときは、（十字キー）で応答メッセージを試聴できる

② 決定 **を押す**

3 終わったら、

終了 **を押す**

帰ってきたら、留守解除する

1 留守 **を押す**

■新しい留守録画なし

➔ 留守解除され、留守ランプが消灯する

■新しい留守録画あり（留守ランプ**点滅**時）

留守録画　　５件
再生します

↓

(日時の古い順に留守録画の自動再生が始まる)

●音声付きの8枚録画の場合、用件再生中は画像が繰り返し再生される

●再生画面の見かたや再生中の機能は(☞ 31ページ)

●自動再生が終わると、「留守中の画像は以上です」と表示され、留守ランプが消灯する

下記の表示が出たとき

ほかに未再生の画像があります
再生ボタンを押してください

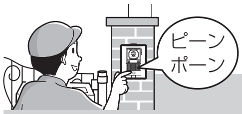
在宅時の自動録画で未再生画像があります。再生は(☞ 30ページ手順1へ)

お知らせ

●一度再生した留守録画は、他の再生済み画像と一緒に記録されます。もう一度再生するには、30ページ「再生ランプ消灯時」の手順で再生してください。
(音声付きの場合、音声再生の途中で再生をやめたときも、その画像は再生済み扱いになります)

留守設定が「画像と音声」の場合は、下記のように留守応答します

ドアホンから呼び出しがあると…

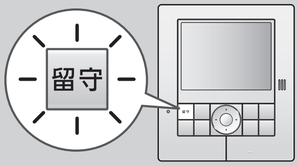


応答メッセージが流れ(※1)、この間、相手の映像が自動録画される(※2)

相手の用件が約20秒間録音される(※3)

録音が終わると…

未再生の留守録画(音声付き)1件となり、留守ランプが点滅する



(留守解除·再生は ☞ 26ページ)

※1 応答メッセージについて

- 固定:「ご用の方はピーという音のあと、20秒以内でメッセージをお話しください」
  自作:録音したメッセージが流れます。(☞ 28ページ)
- ドアホン側に流れるメッセージの音量は変更できます。(☞ 46ページ「留守応答音量」)

※2 録画のタイミングと1件あたりの録画枚数について

在宅時の自動録画と同じです。(☞ 24ページ)

※3 用件録音について

- 録音時間は約20秒間の固定です。
  (相手が何も話さなくても録音され、1件の音声付き画像になる)
- 録音中はドアホン親機のスピーカーから相手の声が聞こえます。(子機は映像表示のみ)

お知らせ

- 留守設定が「画像と音声」でも次の場合は録音できないため、画像のみを録画します。(☞ 29ページ)
  - すでに録画された画像の中に、未再生の音声付き画像(留守録画)と保護設定した音声付き画像が合計25件あるとき(留守ランプが速く点滅し、応答メッセージも流れません)
- 留守応答中も、[通 話]を押してドアホンの相手と通話できます。
  (録音は途中で止まり、録画した画像は再生済み扱いになります)
- 留守応答中に別の機器から呼び出しがあっても、留守応答が終わるまで(約30秒間)は呼び出しが通知されません。
- **別売のカメラを接続してご利用の場合(☞ 60ページ)**
  留守設定時にカメラのセンサーが反応すると、画像のみが自動録画され、カメラの留守録画(音声なし)として記録されます。(留守応答メッセージは流れず、音声録音もできません)
  自動録画のタイミングや録画枚数など詳しくは(☞ 64ページ)

留守設定して録画・録音する(つづき)

自分の声で応答メッセージを作る

1 機能 を押し、 で

[留守の設定]を選ぶ

機能設定

日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定
留守の設定

2 決定 を押し、 で

[自作応答録音]を選ぶ

留守の設定

留守応答音量
自作応答録音
自作応答消去

3 決定 を押す

自作応答録音

【決定】を押し
「ピー」という音に続けて
録音してください

4 決定 を押し、「ピー」音のあと

マイクに向かって録音する

(16秒以内)



自作応答録音

録音を終了するときは
【決定】を押してください

録音中
■>>>>>>>

- 決定 を押す、または16秒経過すると、「ピー」音が鳴って録音が終了し、録音したメッセージが再生される
  ➔ 再生が終わると、手順2の画面を表示
  (録音をやり直すには、手順3へ)

5 終わったら、

終　了 を押す

お願い

- **防犯上、家の中に誰もいないことを想像させるメッセージは録音しないでください。**
  (避けてほしい表現:「留守にしています」「外出中です」「旅行中です」など)

お知らせ

- 録音したメッセージを消すには(☞ 46ページ「自作応答消去」)

録画・録音がいっぱいになったとき

画像の自動更新について

録画や録音の件数がいっぱいになると、新しい録画の際に、一番古い画像を自動的に消去します。（自動更新）

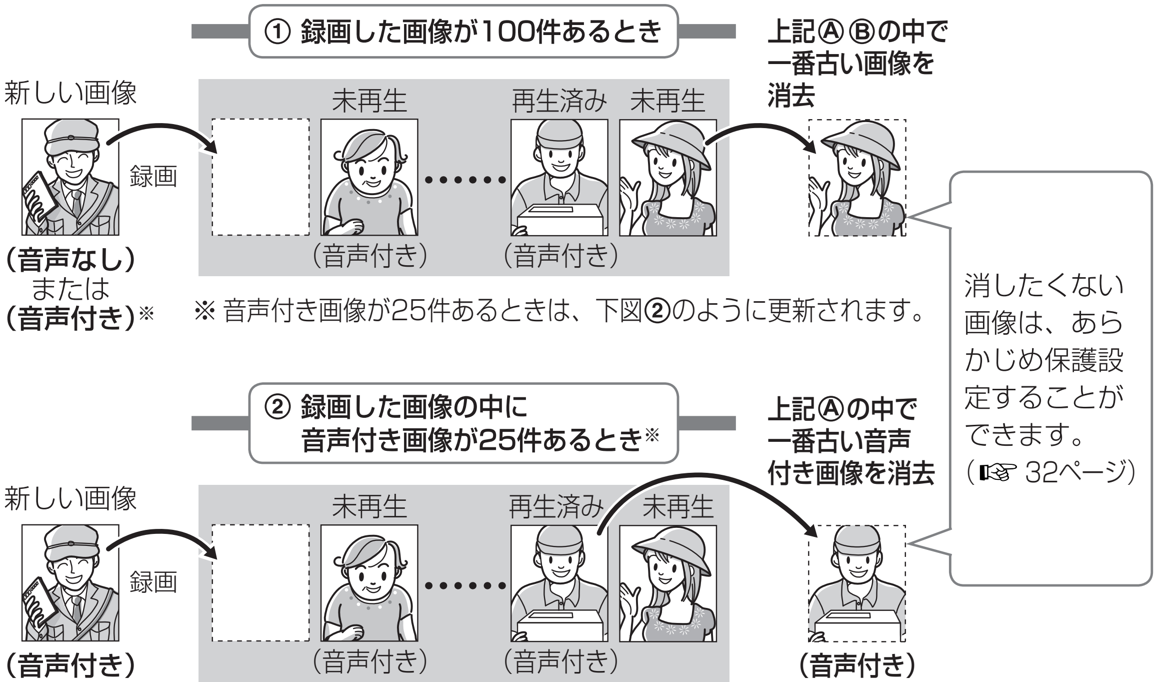
■ 自動更新で消去されるもの

Ⓐ 再生済みの画像
Ⓑ 未再生の画像で音声なしのもの

● **未再生の留守録画で音声付きの画像は、再生するまで消去されません。**

■ 自動更新は、次の場合に行われます

● 録画した画像が100件あるときに、新しい画像を録画したとき（下図①）
● 音声付きの画像が25件あるときに、新しい音声付き画像を録画したとき（下図②）



※次の場合は録音ができなくなります

音声付き画像で「未再生の留守録画」と「保護画像」は自動更新で消去されないため、2つの合計が25件になると新しい録音ができなくなり、留守ランプが通常より速く点滅します。（ただし、画像のみの録画はできます）

↓

● **新しい留守録画があるときは、こまめに再生するようにしてください。（☞ 26ページ）**
再生済みの画像は自動更新で消去されるので、次の録画では録音もできるようになります。

画像を再生する

在宅時(留守ランプ消灯)に自動録画された画像や、再生済みの画像を見るときの操作です。

● **再生ランプ点滅時**：在宅時に自動録画された未再生画像を再生できます。

● **再生ランプ消灯時**：再生済みの画像を再生できます。
(在宅時の未再生画像があれば、未再生画像も再生できます)

再生ランプ点滅時

1 [再生] **を押す** (ランプが消灯する)

ドアホン未再生　5件

2 (決定) **を押す**

● 日時の最も新しい画像が表示される
(8枚録画の場合は1枚目を表示)



■ **8枚録画を再生(自動コマ送り)するには**

[再生] を押す

(8枚目まで再生すると1枚目に戻って停止
• 音声付き録画の場合、用件再生中は画像が繰り返し再生される)

■ **画像が2件以上あるとき、次の画像を見るには**

(▼) を押す

(押すごとに日時の新しい順に表示)

● 再生画面の見かたや再生中の機能は
(☞ 31ページ)

3 終わったら、[終了] **を押す**

再生ランプ消灯時

1 [再生] **を押す**

再生メニュー
ドアホン未再生　5件
ドアホン再生済　32件

2 (▲▼) **で再生したい項目を選ぶ**

● 画像がない項目は薄緑の文字で表示され、選べません

3 (決定) **を押す**

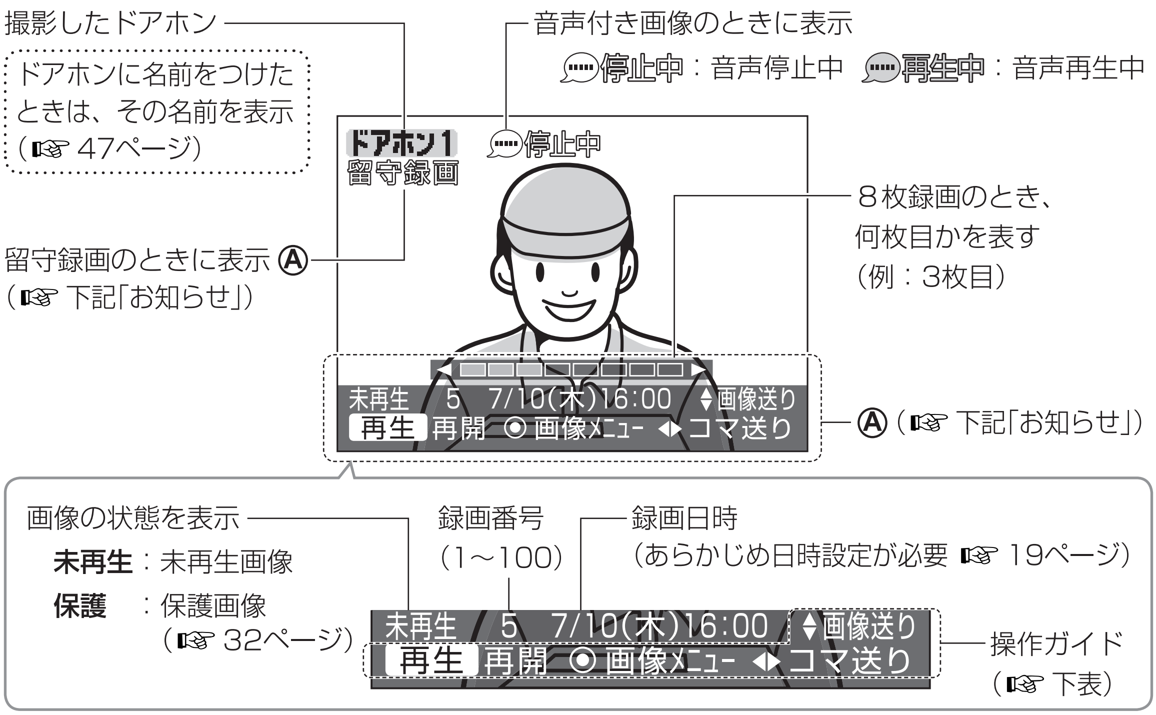
例)
ドアホン再生済　32件

4 **あとは、左の手順2～3を行う**

お知らせ

● 留守ランプ点滅時に上記の操作をすると、まず留守録画が自動再生され、終了後に手順1の画面になります。

再生画面の見かたと再生中の機能



再生中の機能

操作ボタン	操作ガイド	機能説明
再生	再生 開始	8枚録画の再生（自動コマ送り）や、音声付き画像の音声を再生する
	再生 再開	留守録画の自動再生を再開する
	再生 停止	再生を停止する
決定	◉ 画像メニュー	再生中の画像を、保護または消去する（☞ 32ページ）
▲▼	▲▼ 画像送り	画像が2件以上あるとき、1件単位で画像を送る（または戻す） • 押し続けると、早送り／早戻しができる （ただし、26ページの留守録画再生時を除く）
◀▶	◀▶ コマ送り	8枚録画の自動コマ送り停止中、1コマ単位で画像を送る（または戻す）
◀	（表示なし）	再生中の音声を、用件の頭から聞き直す
明るさ/音量 機能	（表示なし）	明るさや再生音量を変更する • 変更するには：▲▼ で［明るさ］や［音量］を選ぶ ➔ ◀▶ で変更

お知らせ

- 8枚録画の場合、画質が粗くなります。画質を優先したいときは、45ページの「ドアホン録画数」の設定を「1枚」に変更してください。
- 8枚録画の画像で8枚録画できなかったときは、コマ送り再生中に「画像中断がありました」と表示して、1枚目に戻ります。
- 「録画日時表示」の設定（☞ 45ページ）を「3秒表示」にすると、上記画面表示のⒶ部分を約3秒間だけ表示させたあと、自動で消すことができます。

録画/再生

画像を保護または消去する

録画した画像がいっぱいになると、古い画像から自動更新で消去されます。(☞ 29ページ)
消したくない画像は保護してください(最大20件)。不要な画像の消去もできます。

- 保護設定や個別消去は、画像再生中に行います。
- すべての画像を一度に消去したいとき(☞ 48ページ「画像全消去」)



1

画像再生中に

(決定)を押し、(▲▼)で

[保護]または[消去]を選ぶ



保護画像のときは「保護解除」と表示される

2

[保護]を選んだとき

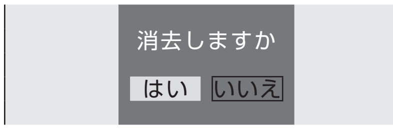
(決定)を押す

- 「保護」と表示される



[消去]を選んだとき

① (決定)を押し、(◀▶)で[はい]を選ぶ



② (決定)を押す

- 消去が終わると、次の画像が表示される

3

終わったら、

[終 了]を押す

■保護を解除するとき

① 保護画像を再生中に(決定)を押し、(▲▼)で[保護解除]を選ぶ

② (決定)を押す

- 「保護」の表示が消える

お知らせ

- 保護設定(解除)や消去は1件単位で行われます。(8枚録画の場合は8枚すべてを保護または消去)
- 保護件数が20件になると、それ以上保護できません。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

子機と話す（ドアホン室内通話）

付属の子機など、ドアホン機能が使える子機と通話ができます。

● VL-SWN355KLの場合、ドアホン親機とファクス親機間の通話はできません。



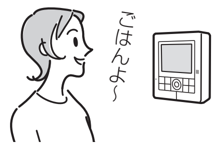
呼び出す側	受ける側
1 [室内呼] **を押し、子機に呼びかける** ● 通話ランプが点灯	「プー」音や呼びかけが聞こえたら、 [通話] **を押して話す**





2 子機が出たら、

話す





● 受話音の大きさの変更やプレストーク通話もできる（☞ 21ページ）

3 終わったら、

[終了] **を押す**

■子機からの呼び出しをドアホン親機で受けるとき

上記の「受ける側」の操作を行う

お知らせ

● 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了します。

● **子機が2台以上あるときは、手順1ですべての子機が一斉に呼び出されます。**
44ページの「室内呼」の設定を「一斉/個別」に変えておくと、下記の手順で**個別呼び出し**ができます。

① [室内呼] を押し、[▲▼] で呼び出す子機を選ぶ

② [決定] を押し、呼びかける

➔ 指定した子機にだけ呼びかけが聞こえる

③ 子機が出たら、話す

（例）

室内呼
一斉
子機１
子機２
子機３
子機４

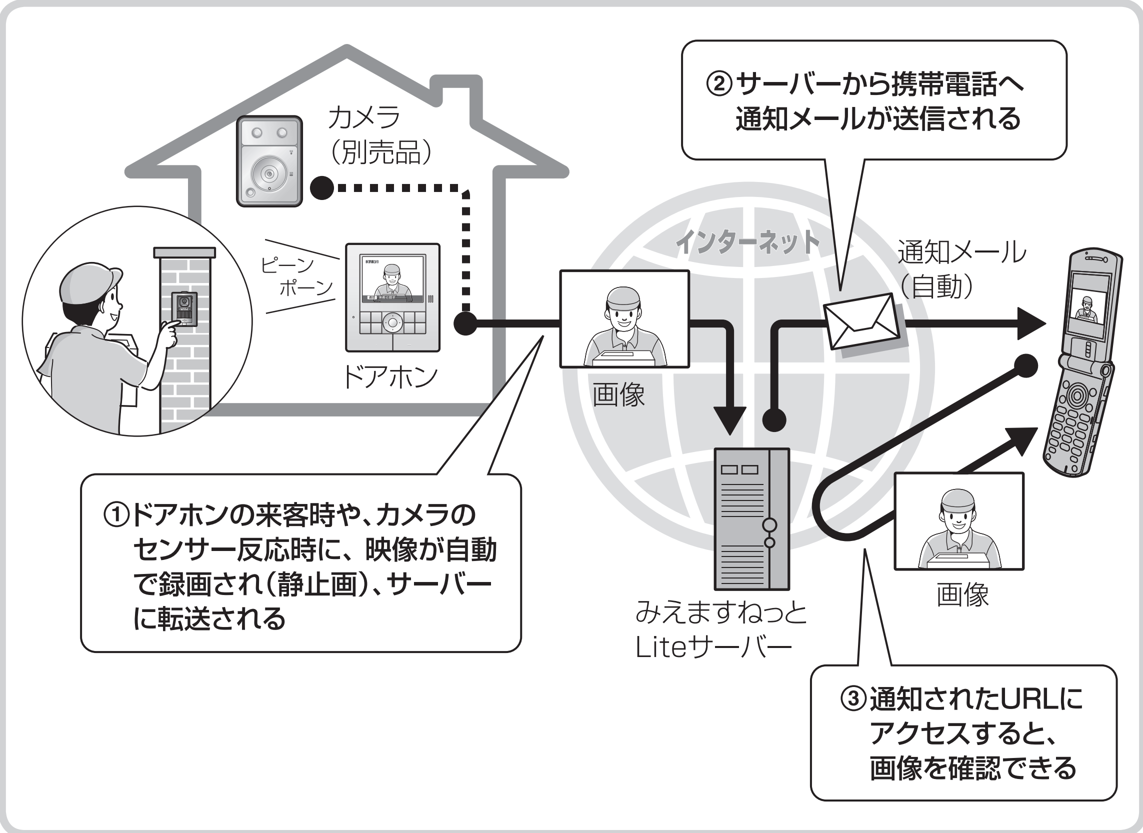
● **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 80ページ）**

「みえますねっとLite」サービスを利用する

「みえますねっとLite」サービスとは

「みえますねっとLite」は、あらかじめ登録したドアホンや別売のカメラの画像(自動録画した静止画)を携帯電話で見ることができるサービス(有料)です。

- **サービスを利用するには、市販のLANケーブルを使って、ドアホン親機やカメラをブロードバンド環境でインターネットに接続しておく必要があります。(接続例は ☞ 59ページ)**
- **サービスの詳細など、添付の「みえますねっとLiteガイド」とあわせてお読みください。**



■ サービスの利用申し込みについて

携帯電話を使って、画像を見たい機器(ドアホンやカメラ)をサービスに登録します。

- ドアホンの画像を見たいときは、ドアホン親機を登録します。(☞ 35ページ)
- カメラの画像を見たいときは、カメラを登録します。(☞ 38ページ)

1つの契約で、**ドアホン親機とカメラを合わせて5台まで登録できます。**(2008年6月現在)

ドアホン親機をサービスに申し込む（登録）

ドアホン親機をインターネットに接続後、携帯電話とドアホン親機で申し込み操作を行います。

携帯電話の操作

1 ドアホン親機にはり付けられたQRコードを携帯電話で読み取り、**サービス申し込みページへアクセスする**

2 **携帯サイトの案内に従って、携帯電話を操作する**

- 途中でドアホン親機の操作が必要になります。下記の手順3～8を行ってください

ドアホン親機の操作

3 **［機能］を押し、［▲▼］で［その他の設定］を選ぶ**

4 **［決定］を押し、［▲▼］で［みえますねっとLite］を選ぶ**

その他の設定
画像全消去
みえますねっとLite
ネットワーク情報

ドアホン親機の操作（つづき）

5 **［決定］を押し、［▲▼］で［みえますねっとLite登録］を選ぶ**

みえますねっとLite
みえますねっとLite登録
みえますねっとLite設定

6 **［決定］を押し、［◀▶］で［はい］を選ぶ**

7 **［決定］を押し、［◀▶］で［はい］を選ぶ**

8 **［決定］を押す**

- ドアホン親機に録画されているドアホン画像（1枚）が、テスト用として専用サーバーに送信される

携帯電話の操作

9 **引き続き携帯電話を操作して、申し込みを完了させる**

- 携帯電話に契約完了のメールが送信される

■ドアホン親機にはり付けられたQRコードがないとき

右記のQRコードからアクセスしてください。

■QRコードを読み取れない携帯電話をご使用のとき

➔携帯電話専用の申し込みページ（https://mlm.mypoke.jp/users/DoorTop.do）からアクセスしてください。

どちらも、途中でドアホン親機のMACアドレスの入力が必要です。MACアドレスは48ページの機能設定「ネットワーク情報」で確認できるので、事前にメモを取ってから、申し込み操作をしてください。

「みえますねっとLite」サービスを利用する（つづき）

● ドアホンの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について ●

サービス申し込み後、必要に応じてドアホン親機で下記の設定や確認をしてください。

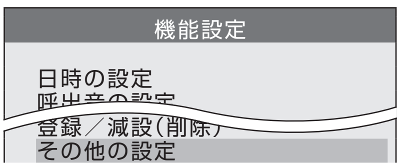
● [　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。（変更のしかたは、ページ下にあります）

機能名	設定内容と概要
みえますねっとLite設定	利用する、[利用しない] ●**35ページのサービス申し込みの際、ドアホン親機で「みえますねっとLite登録」の操作をすると、自動的に「利用する」に変更される** • 「利用する」の場合、46ページの「ドアホン自動録画」の設定が「OFF」でも来客時の映像は自動録画されます。 • 「利用しない」を選ぶと、登録されているドアホン親機でも「みえますねっとLite」サービスのサーバーにドアホン画像を転送しなくなります。ただし、**この操作では「みえますねっとLite」サービスの解約はできません。※ 契約済みの料金も返金できませんので、あらかじめご注意ください。**
みえますねっとLite解除	はい、[いいえ] ●「はい」を選ぶと、「みえますねっとLite」サービスからドアホン親機の登録が解除される • **この操作をしても、「みえますねっとLite」サービスの解約はできません。※ 契約済みの料金も返金できませんので、あらかじめご注意ください。** • 複数のドアホン親機をご利用の場合、解除したドアホン親機以外は引き続き利用することができます。

※「みえますねっとLite」サービスの解約は、携帯電話で「みえますねっとLite」サービスのウェブサイト（https://mlm.mypoke.jp/users/DoorTop.do）にアクセスして行ってください。

設定を変更するとき

[機能] を押し、（選択ボタン）で[その他の設定]を選ぶ → [決定] を押し、（選択ボタン）で[みえますねっとLite]を選ぶ



（例）



● [ ] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。（変更のしかたは、ページ下にあります）

機能名	設定内容と概要
みえますねっとLite情報表示	●「みえますねっとLite」サービスの現在の利用状況（契約状態／更新時間／ビジー時間）を表示する • **契約状態**　：ドアホン親機の申し込み（契約）状態を表示します。 —：「利用しない」に設定されています。 未契約：契約（ドアホン親機の登録）をしていない状態です。 契約中：契約が完了し、「みえますねっとLite」サービスが利用できます。 仮契約：仮契約中です。「みえますねっとLite登録」を設定し、契約を完了してください。 契約期限切れ：契約の期限が切れており、携帯電話での申し込みが必要です。 • **更新時間**　：接続確認のため、ドアホン親機がみえますねっとLiteサーバーと定期通信を行う間隔を表示します。 • **ビジー時間**：みえますねっとLiteサーバーに保存できる枚数を超えたときに、再度、保存できるようになる時間を表示します。

—	「利用しない」に設定されています。
未契約	契約（ドアホン親機の登録）をしていない状態です。
契約中	契約が完了し、「みえますねっとLite」サービスが利用できます。
仮契約	仮契約中です。「みえますねっとLite登録」を設定し、契約を完了してください。
契約期限切れ	契約の期限が切れており、携帯電話での申し込みが必要です。

→ (決定) を押し、(▲▼) で上記の機能名を選ぶ → (決定) を押す → 終わったら、[終 了] を押す

設定する項目によっては、続けて (▲▼) または (◀▶) で設定内容を選び、(決定) を押す

「みえますねっとLite」サービスを利用する（つづき）

別売のカメラをサービスに申し込む（登録）

カメラをインターネットに接続後、申し込み操作を行います。ドアホン親機に登録（☞ 61ページ）したカメラの場合、携帯電話とドアホン親機を使って申し込み操作ができます。

携帯電話の操作

1 カメラ本体にはり付けられたQRコードを携帯電話で読み取り、
サービス申し込みページへアクセスする

2 **携帯サイトの案内に従って、携帯電話を操作する**

- 途中でドアホン親機の操作が必要になります。下記の手順3～10を行ってください

ドアホン親機の操作

3 **[機能] を押し、[▲▼] で[接続機器の設定]を選ぶ**

4 **[決定] を押し、[▲▼] で[カメラ]を選ぶ**

5 **[決定] を押し、[▲▼] で登録するカメラの番号を選ぶ**

6 **[決定] を押し、[▲▼] で[みえますねっとLite]を選ぶ**

ドアホン親機の操作（つづき）

7 **[決定] を押し、[▲▼] で[みえますねっとLite登録]を選ぶ**

みえますねっとLite／カメラ１
みえますねっとLite登録
みえますねっとLite設定

8 **[決定] を押し、[◀▶] で[はい]を選ぶ**

9 **[決定] を押し、[◀▶] で[はい]を選ぶ**

10 **[決定] を押す**

- カメラ画像（1枚）が、テスト用として専用サーバーに送信される

携帯電話の操作

11 **引き続き携帯電話を操作して、申し込みを完了させる**

- 携帯電話に契約完了のメールが送信される
- メールが送られてこない場合は、40ページの「みえますねっとLite情報表示」で利用状況を確認してください

■**カメラ本体にはり付けられたQRコードがないとき**

右記のQRコードからアクセスしてください。

■**QRコードを読み取れない携帯電話をご使用のとき**

➔携帯電話専用の申し込みページ（https://mlm.mypoke.jp/users/Sensor.do）からアクセスしてください。

どちらも、途中でカメラ本体のMACアドレスの入力が必要です。MACアドレスは68ページの機能設定「カメラ詳細情報」で確認できるので、事前にメモを取ってから、申し込み操作をしてください。

● 別売のカメラの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について ●

サービス申し込み後、必要に応じてドアホン親機で下記の設定や確認をしてください。

● [　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。（変更のしかたは、ページ下にあります）

機能名	設定内容と概要
みえますねっと Lite設定	利用する、[利用しない] ● **38ページのサービス申し込みの際、ドアホン親機で「みえますねっとLite登録」の操作をすると、自動的に「利用する」に変更される** •「利用しない」を選ぶと、登録されているカメラでも「みえますねっとLite」サービスのサーバーにカメラ画像を転送しなくなります。ただし、**この操作では「みえますねっとLite」サービスの解約はできません。**※ **契約済みの料金も返金できませんので、あらかじめご注意ください。**
みえますねっと Lite解除	はい、[いいえ] ●「はい」を選ぶと、「みえますねっとLite」サービスからカメラの登録が解除される • **この操作をしても、「みえますねっとLite」サービスの解約はできません。**※ **契約済みの料金も返金できませんので、あらかじめご注意ください。** • 複数のカメラをご利用の場合、解除したカメラ以外は引き続き利用することができます。

※「みえますねっとLite」サービスの解約は、携帯電話で「みえますねっとLite」サービスのウェブサイト(https://mlm.mypoke.jp/users/Sensor.do)にアクセスして行ってください。

■ 設定を変更するとき

[機能] を押し、(▲▼) で[接続機器の設定]を選ぶ ➔ (決定) を押し、(▲▼) で[カメラ]を選ぶ
➔ (決定) を押し、(▲▼) でカメラ番号を選ぶ ➔ (決定) を押し、(▲▼) で[みえますねっとLite]を選ぶ
➔ (決定) を押し、(▲▼) で上記の機能名を選ぶ ➔ (決定) を押す

設定する項目によっては、続けて
(▲▼) または (◀▶) で設定内容を選び、(決定) を押す

●終わったら、
[終　了] を押す

「みえますねっとLite」サービスを利用する（つづき）

● 別売のカメラの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について（つづき）●

● ▭ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。（変更のしかたは、ページ下にあります）

<table>
<tr><th>機能名</th><th>設定内容と概要</th></tr>
<tr><td>みえますねっと
Lite情報表示</td><td>●「みえますねっとLite」サービスの現在の利用状況（契約状態／更新時間／ビジー時間）を表示する
• 契約状態　：カメラの申し込み（契約）状態を表示します。
<table>
<tr><td>—</td><td>「利用しない」に設定されています。</td></tr>
<tr><td>未契約</td><td>契約（カメラの登録）をしていない状態です。</td></tr>
<tr><td>契約中</td><td>契約が完了し、「みえますねっとLite」サービスが利用できます。</td></tr>
<tr><td>仮契約</td><td>仮契約中です。「みえますねっとLite登録」を設定し、契約を完了してください。</td></tr>
<tr><td>契約期限切れ</td><td>契約の期限が切れており、携帯電話での申し込みが必要です。</td></tr>
</table>
• 更新時間　：接続確認のため、カメラがみえますねっとLiteサーバーと定期通信を行う間隔を表示します。
• ビジー時間：みえますねっとLiteサーバーに保存できる枚数を超えたときに、再度、保存できるようになる時間を表示します。</td></tr>
</table>

■ 設定を変更するとき

機能 を押し、 で[接続機器の設定]を選ぶ → 決定 を押し、 で[カメラ]を選ぶ
→ 決定 を押し、 でカメラ番号を選ぶ → 決定 を押し、 で[みえますねっとLite]を選ぶ
→ 決定 を押し、 で上記の機能名を選ぶ → 決定 を押す

●終わったら、
終 了 を押す

お好み設定

呼出音の大きさを変える 呼出音量

ドアホン親機で鳴る呼出音量は、下記のようにそれぞれ変更することができます。

- ドアホンからの呼び出し　　：３段階＋「切」
- 別売のカメラからの呼び出し：３段階＋「切」
- 子機からの呼び出し（室内呼）：３段階

1 **機能 を押し、 で [呼出音の設定] を選ぶ**

機能設定
- 日時の設定
- 呼出音の設定
- 応答の設定
- 録画再生の設定

2 **決定 を押し、 で [呼出音量] を選ぶ**

呼出音の設定
- 呼出音量
- 呼出音
- カメラ呼出消音

3 **決定 を押し、 で 音量を変えたい項目を選ぶ**

呼出音量
- ドアホン
- カメラ
- 室内呼

4 **決定 を押し、 で音量を選ぶ**

（例）

呼出音量／ドアホン
- ●大 ← 現在の設定値
- 中
- 小
- 切

●選んだ音量で呼出音が鳴る
- 「切」は「ピピッピピッ」と鳴る

5 **決定 を押す**

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、
終了 を押す

お知らせ

●呼出音量は、それぞれの機器からの着信中に変更することもできます。

① 着信中に 機能 を押し、 で「呼出音量」を選ぶ

② で音量を変更する

（例）

照明	ON OFF
逆光補正	ON OFF
明るさ	
呼出音量	

③ 終わったら 機能 を押す

を押して小さく

を押して大きく

■**呼出音量を「切」（鳴らない）にするには**
（ドアホン、カメラのみ）
「ピピッピピッ」と鳴るまで
を押し続ける

●**「切」を解除するには** ➔ を押す

呼出音を変える

ドアホンや、別売のカメラからの呼出音を変更できます。

● 室内呼の呼出音は変えられません。

1 機能 を押し、◇ で[呼出音の設定]を選ぶ

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定

2 決定 を押し、◇ で[呼出音]を選ぶ

呼出音の設定
呼出音量
呼出音
カメラ呼出消音

3 決定 を押し、◇ で呼出音を変えたい機器を選ぶ

呼出音
ドアホン1
ドアホン2
ドアホン3
カメラ1

4 決定 を押し、◇ で音を選ぶ

呼出音／ドアホン1
●音1
音1（繰り返し）
音2
音2（繰り返し）

現在の設定値

● 選んだ音が鳴る

● 「繰り返し」を選んだ場合も、ここで鳴るのは1回のみ

5 決定 を押す

● 「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、終了 を押す

■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」、ドアホン3「音3」、カメラ1～4「音A」

ドアホンからの呼出音			
音1	ピーンポーン	音3	ポーンポーンポーン
音1繰り返し	ピーンポーン※	音3繰り返し	ポーンポーンポーン※
音2	プルルルルル…	音4	ピンポーンピンポーン
音2繰り返し	プルルルルル…※	音4繰り返し	ピンポーンピンポーン※

カメラからの呼出音			
音A	ピポッ	音C	ポーンポーン
音B	ポポポポポポ…	音D	ピーンポーン

※ ドアホン着信中、約5秒間隔で、それぞれの音を繰り返します。
ただし、「ドアホン側で鳴る音」「通話中に鳴る呼出音」「留守応答中の呼出音」は繰り返しません。

お好み設定

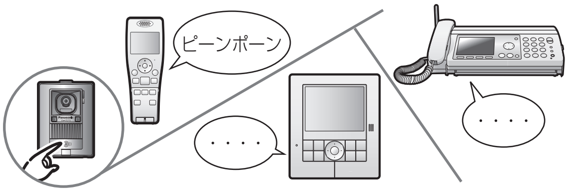
着信させるドアホンやカメラを指定する（鳴り分け）

ドアホン親機・子機・ファクス親機※の機器ごとに、着信させたくないドアホンがあるときは、下記の設定で「鳴らない」にしてください。

※ VL-SWN350KLの場合は、ドアホン親機に接続した電話/ファクスやインターホン

● 別売のカメラをご使用の場合は、ドアホン親機と子機のみ、カメラ着信の鳴り分け設定もできます。

● お買い上げ時の設定：すべて「鳴る」



1 [機能] を押し、[上下ボタン] で
[応答の設定]を選ぶ

機能設定
- 日時の設定
- 呼出音の設定
- 応答の設定
- 録画再生の設定

2 [決定] を押し、[上下ボタン] で
[鳴り分け]を選ぶ

応答の設定
- 音声応答
- 室内呼
- 鳴り分け

3 [決定] を押し、[上下ボタン] で鳴り分けを
設定する室内機器を選ぶ

鳴り分け
- 親機
- 子機１
- 子機２
- 子機５
- 子機６
- 拡張機器・ワイヤレスアダプター

ファクス親機（接続した電話/ファクスやインターホン）の場合はここを選ぶ

4 [決定] を押し、[上下ボタン] で
着信させたくない機器を選ぶ

鳴り分け／親機
- ドアホン１
- ドアホン２
- ドアホン３
- カメラ１

5 [決定] を押し、[上下ボタン] で
[鳴らない]を選ぶ

鳴り分け／親機／ドアホン１
- ●鳴る
- 鳴らない

現在の設定値

6 [決定] を押す

● 「ピー」と鳴り、手順4の画面を表示

7 終わったら、
[終了] を押す

お知らせ

● 下記の場合は、「鳴らない」に設定したドアホンやカメラからも着信します。
- ドアホンとの通話中（モニター中）またはカメラモニター中
- 室内呼び出し中、室内通話中

● **2世帯住宅などで、ドアホンを2台以上設置している方へ**
世帯ごと（ドアホンごと）に留守設定（☞ 26ページ）をすることはできません。

機能設定一覧表

ドアホン親機で変更できる機能設定の一覧です。使いかたに合わせて変更してください。

- 変更のしかたはページ下にあります。
  ただし、一覧表中に(設定は☞ ○○ページ)とあるものは、参照先の手順に従ってください。
- 機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。
- 　　　のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

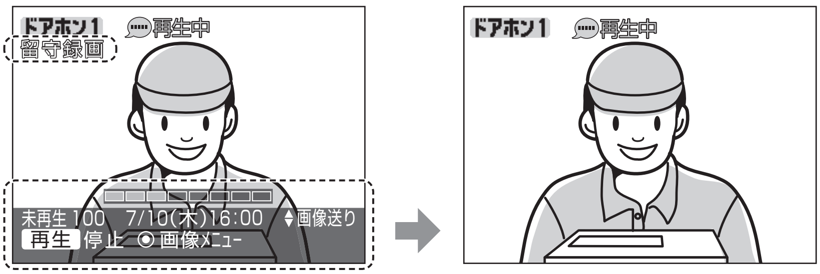
項目	機能名	設定内容と概要
日時の設定	ー	●現在の日付・時刻を設定する(設定は☞ 19ページ)
呼出音の設定	呼出音量	ドアホン　：大、中、小、切 カメラ　　：大、中、小、切 室内呼　　：大、中、小 ● ドアホン親機で鳴る呼出音の音量を選ぶ(設定は☞ 41ページ)
	呼出音	● ドアホン親機で鳴る、ドアホンや別売のカメラからの呼出音の種類を選ぶ(設定は☞ 42ページ) 〈ドアホン1～3、カメラ1～4で個別に設定〉
	カメラ呼出消音	する、しない ●「する」を選ぶと、ドアホン親機とすべての子機で、カメラ呼出音が鳴らなくなる
応答の設定	音声応答	ON 、OFF ●「ON」にすると、ドアホンや子機からの呼び出しに、通話を押さずに「はーい」などの音声で応答できる(☞ 20ページ) • 音声応答設定後も、通話を押して応答できます
	室内呼	一斉、一斉／個別 ●「一斉／個別」を選ぶと、子機を個別に呼び出すことができる

設定を変更するとき

機能 を押し、▲▼で項目を選ぶ → 決定 を押し、▲▼で機能名を選ぶ

機能設定
- 日時の設定
- 呼出音の設定
- 応答の設定
- 録画再生の設定

(例)
呼出音の設定
- 呼出音量
- 呼出音
- カメラ呼出消音

項目	機能名	設定内容と概要
応答の設定	鳴り分け	鳴る、鳴らない　〈ドアホン1～3、カメラ1～4を個別に設定〉 ●着信させたくないドアホンやカメラは「鳴らない」を選ぶ （設定は☞ 43ページ）
	ボイスチェンジ	通常、低め ●「低め」を選ぶと、ボイスチェンジの声がさらに低くなる
録画再生の設定	録画日時表示	常時、3秒表示（画像1件につき、約3秒間だけ表示） ●「3秒表示」を選ぶと、録画再生時に表示される録画日時欄や操作ガイドなどが約3秒後に自動で消える （表示直後）　（約3秒経過後） 
	再生ランプ点滅	する、しない ●「する」の場合、ドアホンや別売のカメラの新しい自動録画（未再生）があると点滅でお知らせする
	ドアホン録画数	1枚、8枚　〈ドアホン1～3の個別設定はできない〉 ●ドアホン録画1件あたりの画像枚数を選ぶ（☞ 24ページ） •「8枚」の場合は、「1枚」に比べて画質が低下します 画質を優先したいときは、「1枚」を選んでください

→ 決定 を押し、 で設定内容を選ぶ → 決定 を押す → 終わったら、 終 了 を押す

●機能によっては、この操作を繰り返す

機能設定一覧表(つづき)

● 変更のしかたはページ下にあります。
ただし、一覧表中に(設定は☞ ○○ページ)とあるものは、参照先の手順に従ってください。
● [　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	機能名	設定内容と概要
録画再生の設定	録画開始時間	[標準](約2秒)、遅い(約3秒)　〈ドアホン1～3の個別設定はできない〉 ● ドアホンの自動録画で、夜間などの映像が映りにくいとき「遅い」を選ぶ
	ドアホン自動録画	[ON]、OFF　〈ドアホン1～3を個別に設定〉 ● 在宅自動録画(☞ 24ページ)をやめるときは、「OFF」を選ぶ • **「OFF」にしても、留守設定時は自動で留守録画する**
	録画件数振り分け	する、[しない] ● 「する」を選ぶと、録画可能件数(最大100件)をドアホン画像用(最大60件)とカメラ画像用(最大40件)に分けることができる※ ※ 未再生画像があるときは設定できません(再生後に設定してください)
留守の設定	留守応答音量	[大]、中、小　〈ドアホン1～3を個別に設定〉 ● 留守応答時に、ドアホン側に流れる応答メッセージの音量を選ぶ
	自作応答録音	● 留守応答時の応答メッセージを自分で作る(設定は☞ 28ページ)
	自作応答消去	はい、[いいえ]
接続機器の設定	カメラ	● 別売のカメラに関する各種設定を行う(詳しい内容と設定は☞ 66～68ページ)
	ドアホン接続	ドアホン1：[あり]、自動判定、なし ドアホン2：あり、[自動判定]、なし ドアホン3：あり、[自動判定]、なし ● 使わなくなったドアホンは「なし」を選ぶ

設定を変更するとき

[機能] を押し、(上下ボタン)で項目を選ぶ → [決定] を押し、(上下ボタン)で機能名を選ぶ

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定

(例)
録画再生の設定
録画日時表示
再生ランプ点滅
ドアホン録画数

項目	機能名	設定内容と概要
接続機器の設定	ドアホンの名前	ドアホン1：ドアホン1、玄関、門、勝手口 ドアホン2：ドアホン2、玄関、門、勝手口 ドアホン3：ドアホン3、玄関、門、勝手口 ● 設置場所に応じて、ドアホン1～3の名前を選ぶ （設定した名前は、次のときに表示されます） • ドアホン着信中/通話中/モニター中のドアホン親機画面 • ドアホン親機や子機で、ドアホン(カメラ)モニターするときの機器選択画面 • 録画したドアホン画像を、ドアホン親機で再生したときの再生画面
	ドアホン照明自動点灯	する、しない 〈ドアホン1～3を個別に設定〉 ●「する」の場合、ドアホン側が暗いときに下記の操作をすると、自動的にドアホンのLEDライト(☞ 18ページ)が点灯する • ドアホン側で呼出ボタンが押されたとき • 室内からドアホンをモニターしたとき
	センサー入力	火災警報器、外部センサー、地震警報器、なし ● ドアホン親機のセンサー入力端子に接続する機器を選ぶ
	中継アンテナ	● 中継する子機(1～6)を変更できる〈中継アンテナ1～2で個別に設定〉 （登録している子機しか選べません）
	A接点出力	ON、OFF 〈ドアホン1～3、カメラ1～4を個別に設定〉 ● ドアホン親機のA接点出力端子に接続した機器(光るチャイムなど)は、設定を「ON」にしたドアホンやカメラの呼び出しに連動する(設定は☞ 53ページ)
	拡張機器	インターホン、ドアホンアダプター ● ドアホン親機の拡張端子に接続する機器を選ぶ
	外部機器ボタン	電気錠、機器、なし 〈外部機器1～2を個別に設定〉 ● ドアホン親機や子機の外部機器ボタンで操作する機器を選ぶ （設定は☞ 54ページ）
	AV機器	● テレビやレコーダーを接続してご使用の場合に、登録機器の詳細情報を確認できる(設定は☞ 74ページ)

→ 決定 を押し、（▲▼）で設定内容を選ぶ → 決定 を押す → 終わったら、[終了] を押す

● 機能によっては、この操作を繰り返す

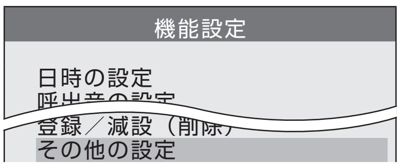
機能設定一覧表(つづき)

- 変更のしかたはページ下にあります。
  ただし、一覧表中に(設定は☞ ○○ページ)とあるものは、参照先の手順に従ってください。
- [　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

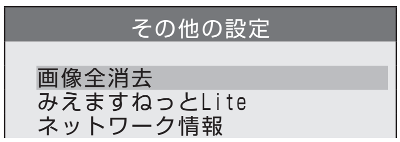
項目	機能名	設定内容と概要
登録/減設(削除)	登録	● 各機器の登録(増設)/減設(削除)をする • 子機(設定は☞ 76、79ページ) • カメラ(設定は☞ 61、79ページ) • 中継アンテナ(設定は☞ 78、79ページ) • ワイヤレスアダプター機能に対応した電話/ファクス(設定は☞ 56、58ページ) • テレビやレコーダー(設定は☞ 70、72、75ページ)
	減設(削除)	
その他の設定	画像全消去	すべての画像を消去、保護画像を残して消去、[戻る] ● 保護画像も含めてすべての画像を消去するときは、「すべての画像を消去」を選ぶ
	みえます ねっとLite	● みえますねっとLiteサービスに関する各種設定を行う(詳しい内容と設定は☞ 34~37ページ)
	ネットワーク 情報	● ドアホン親機のIPアドレスやMACアドレスなど、ネットワークに関する情報を確認できる ● ドアホン親機とカメラ/テレビ/レコーダーの接続に異常があるときは、異常の内容も表示される(☞ 97ページ)
	設定の初期化	設定の初期化 + 全画像を消去、設定の初期化のみ、[戻る] ● ドアホン親機の設定をお買い上げ時の状態に戻すとき、どちらかを選ぶ(廃棄・譲渡・返却するときは、「設定の初期化+全画像を消去」を選ぶ) ● 設定の初期化をしても、下記の項目は初期化されません •「接続機器の設定」内にある、「カメラ」と「中継アンテナ」の設定 •「その他の設定」内にある、「みえますねっとLite」の設定 • ドアホン親機に登録した、子機、カメラ、中継アンテナ、ワイヤレスアダプター機能の登録情報(テレビやレコーダーの登録情報は初期化されます) ● 火災警報器などを接続してご使用の場合、初期化をすると、センサー履歴(☞ 52ページ)の情報も消去されます

設定を変更するとき

[機能] を押し、◇ で項目を選ぶ → (決定) を押し、◇ で機能名を選ぶ

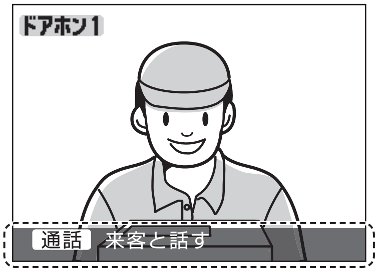


(例)



<table>
<tr><th>項目</th><th>機能名</th><th>設定内容と概要</th></tr>
<tr><td rowspan="2">その他の設定</td><td>モード切替</td><td>通常は使わないでください

展示モード(店頭販売時の展示用などに使うモード)
音声なし、音声なし + ドアホン自動呼出、
音声あり + ドアホン自動呼出、しない

PCモード(パソコンで本機のIPアドレスを変更するためのモード)
詳しい内容と設定は、パナソニックのサポートウェブサイト
(http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html)
を参照してください。</td></tr>
<tr><td>操作ガイド表示</td><td>する、しない
● 着信中・モニター中の操作ガイドを表示するかしないかを選ぶ
「する」のとき


「しない」のとき

</td></tr>
</table>

→ 決定 を押し、 で設定内容を選ぶ → 決定 を押す → 終わったら、 終 了 を押す

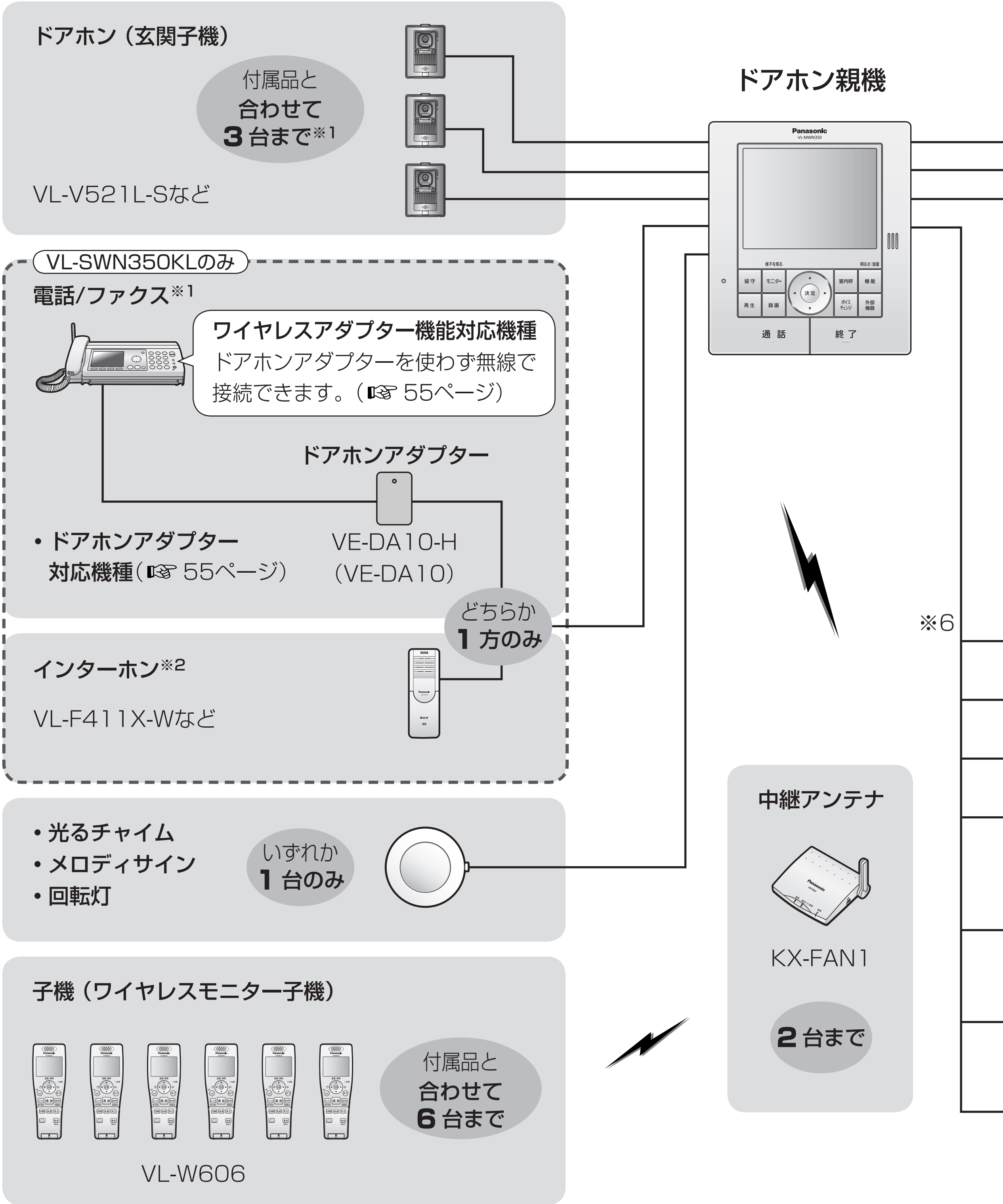
● 機能によっては、この操作を繰り返す

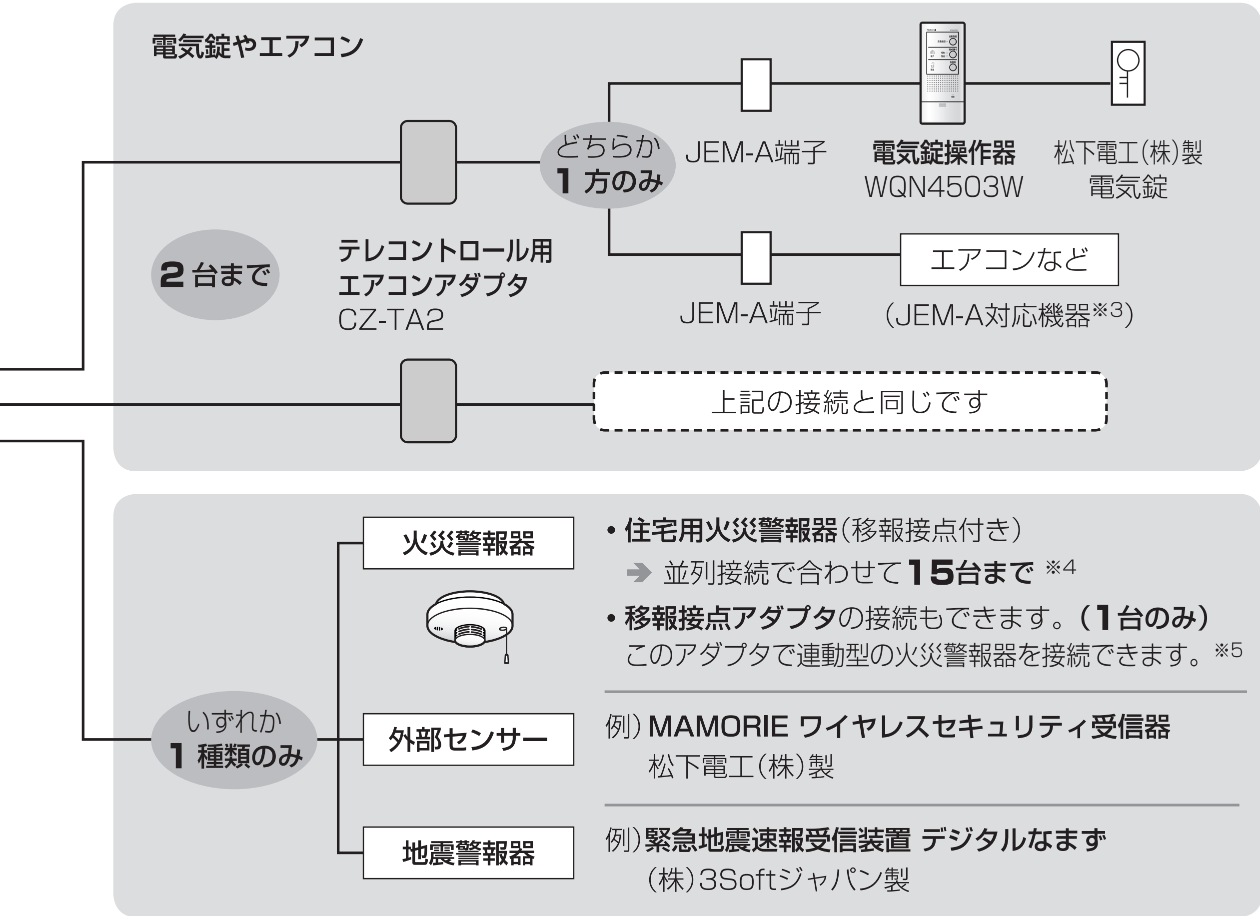
「画像全消去」や「設定の初期化」で、画像消去の確認画面が表示されたら、 で[はい]を選び、決定 を押す

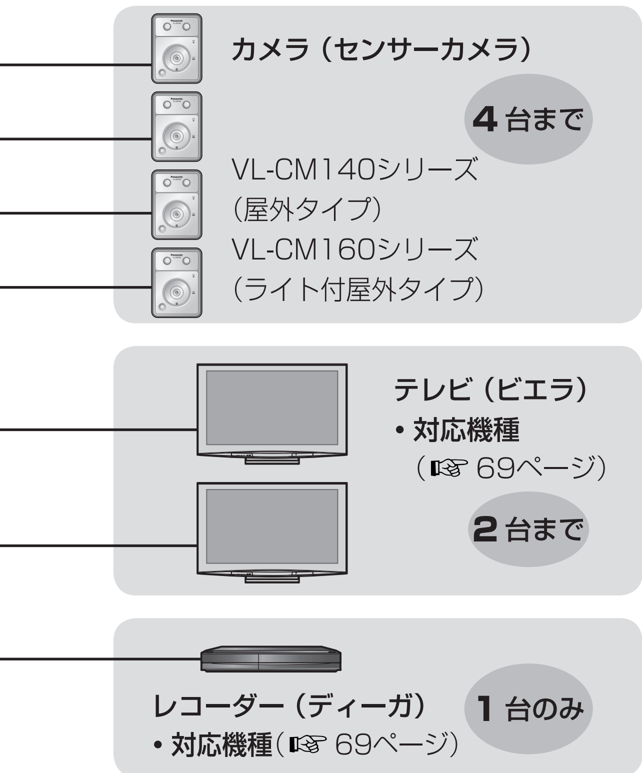
こんな機器の増設・連携ができます（システム構成図）

ドアホン親機に下記の機器を接続／登録して、さらに使いやすいシステムにできます。

- 下記の配線はイメージです。ドアホン親機との配線の詳細は工事説明書をお読みください。
  また、接続する機器の設置や使いかたは、それぞれの機器の説明書をお読みください。
- **増設できる別売品や推奨品の一覧は（☞ 83ページ）**







※1 **電話/ファクスと連携してご使用の場合、電話/ファクスでは、3台目のドアホンとの通話はできません。(呼出音も鳴りません)**

※2 インターホン接続時は、47ページの「拡張機器」の設定を「インターホン」にしてください。

※3 (社)日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

※4 移報接点アダプタも並列接続する場合は、**14台まで**。

※5 接続できる火災警報器については、アダプタの説明書をご覧ください。アダプタ経由で接続する火災警報器の台数は、火災警報器の仕様によって異なります。

※6 市販のLANケーブルやハブで接続します。接続の詳細は(☞ 59ページ)

別売機器との連携

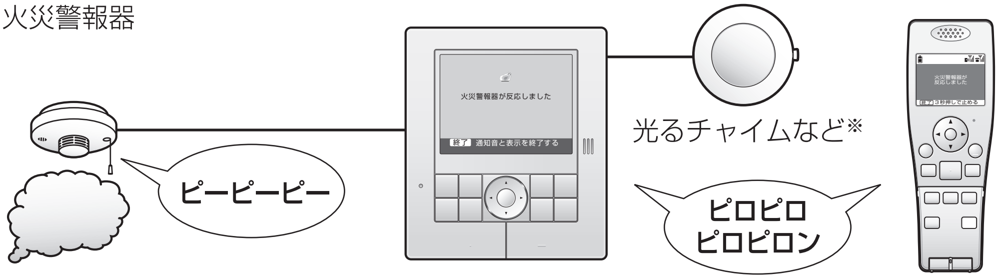
火災警報器などを接続して使う

火災警報器、外部センサー、地震警報器のいずれかを接続したときは、ドアホン親機で**接続機器の設定（☞ 47ページ「センサー入力」）が必要です。**設定すると、接続機器が反応したとき、ドアホン親機や子機にも下記のように通知されます。

● 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

接続機器が反応すると、通知音（最大音量）と画面表示でお知らせします

例）火災警報器



※光るチャイムやメロディサインなどを接続時は、本機に連動します。

● 接続機器が反応を終了するか、または最大3分経過すると、自動的に通知音と画面表示も終了します。

■ 通知音と画面表示をすぐに終了したいとき（鳴り始めから約５秒間は終了できません）

〈ドアホン親機〉 終了 を押す

〈子　機〉 終了 を約3秒間押す

どちらかで終了操作をすると、ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える

■ 通知音と画面表示について

接続機器	通知音（音量は固定）	画面表示
火災警報器	ピロピロピロピロン	火災警報器が反応しました
外部センサー	プルルルプルルル	外部センサーが反応しました
地震警報器	ピロピロピ・ピロピロピ	地震速報を受信しました

ドアホン親機でセンサー履歴を見る

通知日時の最新情報を６件まで、ドアホン親機に記憶しています。

① 待ち受け中に 決定 を押し、 ◇ を押す

センサー履歴

2008/ 7/25 18:22 火災警報器
2008/ 7/21 5:48 火災警報器

② 終わったら、 終了 を押す

お願い

● 接続機器の点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

お知らせ

● 通話中、接続機器が反応すると、通話が切れて上記の通知音が鳴ります。
  • 子機で通話中に、接続機器が反応したときの動作については（☞「子機編」56ページ）
● 通知終了後も接続機器で反応が続いていると、「通話」「モニター」「着信」などの終了時に、上記の画面が約3秒間表示されます。（ドアホン親機のみ）

光るチャイムやメロディサインなどを接続して使う

光るチャイム、メロディサイン、回転灯は、下記の場合にドアホン親機に連動します。

- ドアホンや別売のカメラから呼び出しがあったとき
  ➔ 設定により、連動させるドアホンやカメラを指定できます。(☞ 下記)
- 火災警報器や外部センサー、地震警報器が反応したとき(☞ 52ページ)
  ➔ 常に連動します。設定で連動をやめることはできません。

●接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

● 光るチャイムやメロディサインなどを連動させる機器を指定する(A接点出力) ●

連動させたくないドアホンやカメラの設定を「OFF」にしてください。
●お買い上げ時の設定：すべて「ON」

1 機能 を押し、(上下ボタン) で
[接続機器の設定]を選ぶ

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定
留守の設定
接続機器の設定
登録/減設(削除)
その他の設定

2 決定 を押し、(上下ボタン) で
[A接点出力]を選ぶ

接続機器の設定
1/2ページ
カメラ
ドアホン接続
中継アンテナ
A接点出力

3 決定 を押し、(上下ボタン) で
連動させたくない機器を選ぶ

A接点出力
ドアホン1
ドアホン2
ドアホン3
カメラ1
カメラ2
カメラ3
カメラ4

4 決定 を押し、(上下ボタン) で
[OFF]を選ぶ

A接点出力/ドアホン1
●ON
OFF

現在の設定値

5 決定 を押す

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、
終了 を押す

電気錠やエアコンなどを接続して使う

接続した機器を、ドアホン親機や子機の外部機器ボタンで操作できます。（最大2台まで）
接続後、下記の設定で、操作する機器を登録してください。

● 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

外部機器ボタンの設定

● お買い上げ時の設定：「なし」（未登録）

1 機能 を押し、◇ で

[接続機器の設定]を選ぶ

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
留守の設定
接続機器の設定
登録／減設（削除）

2 決定 を押し、◇ で

[外部機器ボタン]を選ぶ

3 決定 を押し、◇ で登録先の

機器番号を選ぶ

外部機器ボタン
外部機器 1
外部機器 2

4 決定 を押し、◇ で選ぶ

外部機器ボタン／外部機器 1
電気錠
機器
●なし

現在の設定値 → ●なし

「電気錠」：電気錠の施錠/解錠

「機器」　：エアコンなどの機器のON/OFF

5 決定 を押す

● 「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、

終　了 **を押す**

ドアホン親機で外部機器を操作する

1 施錠/解錠（またはON/OFF）したいときに

外部機器 **を押す**

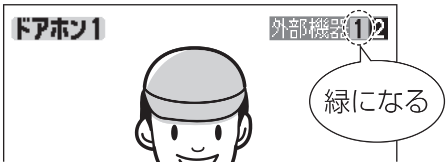
外部機器が2台あるとき

1 ：電気錠
2 ：機器

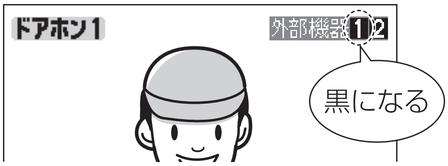
◇ でどちらかを選び、決定 を押す

（例）

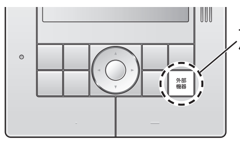
■ 外部機器1を施錠またはONにしたとき



■ 外部機器1を解錠またはOFFにしたとき



機器が1台しかないとき



施錠またはONのときに、**外部機器ランプも点灯する**

お知らせ

● 子機で操作するとき（☞「子機編」57ページ）

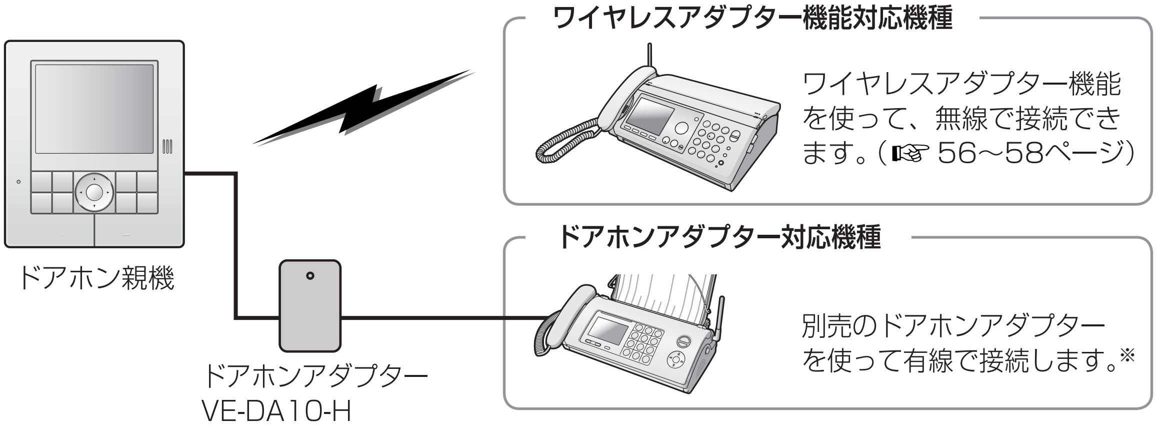
● 機器の施錠/解錠（またはON/OFF）状態は情報表示画面で確認できます。
（☞ 81ページ）

電話/ファクスを接続して使う (VL-SWN350KLのみ)

接続すると、電話/ファクスでもドアホンとの通話ができます。

接続できる電話/ファクスについて

接続できる機種には2つのタイプがあり、接続方法が異なります。(接続はどちらか1方のみ)



※本機の工事説明書、および接続する機器の説明書をお読みください。

■ ワイヤレスアダプター機能対応機種 (松下電器産業(株)製：2008年6月現在)

●コードレス電話機
品番： VE-GP10、VE-GP20、VE-GP22、VE-GP30、VE-GP31、VE-GP32、VE-GP50、VE-GP51、VE-GP52、VE-GP62 シリーズ

●パーソナルファクス
品番： KX-PW506、KX-PW507、KX-PW605、KX-PW606、KX-PW607、KX-PW616 シリーズ

■ ドアホンアダプター対応機種 (松下電器産業(株)製)

下記は、2005年から2008年4月現在までに発売された機種です。

●コードレス電話機
品番： VE-GP05、VE-GP30、VE-GP31、VE-GP32、VE-GP52、VE-GP62 シリーズ

●パーソナルファクス
品番： KX-PW505、KX-PW506、KX-PW507、KX-PW513、KX-PW603、KX-PW605、KX-PW606、KX-PW607、KX-PW616 シリーズ

お知らせ

- 電話/ファクスを接続しても、ドアホン親機と電話/ファクス間では、内線通話やドアホン通話の転送はできません。
- 接続後の使いかたは、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話/ファクスを接続して使う （VL-SWN350KLのみ）（つづき）

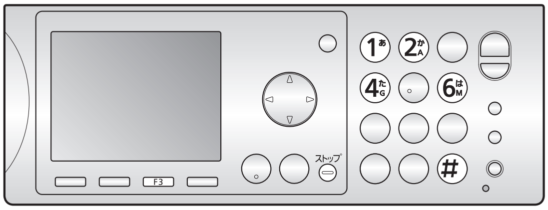
ワイヤレスアダプター機能で接続するとき

ドアホン親機と電話/ファクス親機間で、ワイヤレスアダプターの設定(増設)が必要です。
電話/ファクス親機に続けて、約2分以内にドアホン親機を操作してください。

● 電話/ファクス親機の操作はKX-PW616の例です。その他の機種の場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。（機種によっては子機で操作する場合もあります）

電話/ファクス親機の操作

（KX-PW616）



1 電話機コードを抜く

●「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、ストップ（電話機は[取消]ボタン）で表示を消してください

2 機能 F3 を押し、#164を押す

ﾜｲﾔﾚｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ設定

3 決定 F3 を押す

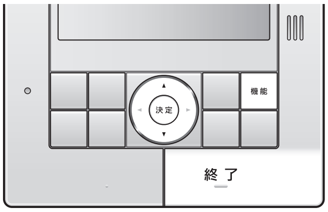
減設=1
増設=2

4 ②を押す

ﾄﾞｱﾎﾝ親機を
操作してください

続けて、約2分以内にドアホン親機を操作する

ドアホン親機の操作



5 機能 を押し、（上下ボタン）で[登録/減設(削除)]を選ぶ

機能設定
日時の設定
接続機器の設定
登録／減設（削除）

6 決定 を押し、（上下ボタン）で[登録]を選ぶ

7 決定 を押し、（上下ボタン）で[ワイヤレスアダプター機能]を選ぶ

8 決定 を押す

● 登録が終わったら、終　了 を押す

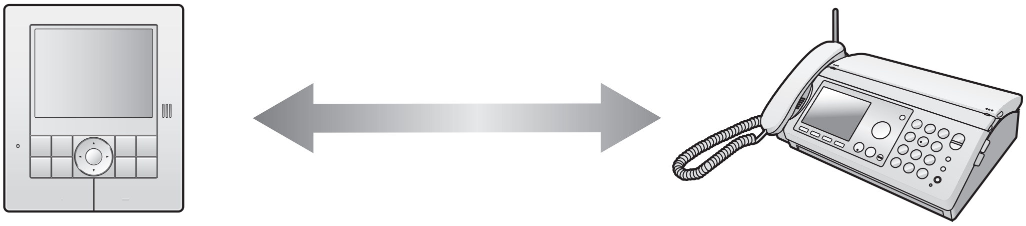
登録後に必ず行ってください

■ドアホンの呼出ボタンを押し、電話/ファクス親機で音が鳴ることを確認する
（一度押さないとドアホンに呼びかけられない）
■電話機コードを接続する(電話/ファクス親機)
■設置場所で電波を確認する(☞ 81ページ ①)

お知らせ

● 手順6のあと設定が完了するまでは、ドアホンからの呼び出しを受けられません。
● 電話/ファクス親機に「プロトコルエラー」と表示され、手順3の画面に戻ったとき
➔ 手順4からやり直してください。
● ドアホン親機に「登録できません」が表示されたとき(☞ 95ページ)

ワイヤレスアダプター機能で接続するとき（つづき）



ドアホン親機と電話/ファクス親機間の通信には電波を使うため、
電話/ファクス親機の設置場所にご注意ください

- 親機同士の電波は、2.4～2.4835 GHzを使用します。
  電子レンジなど、同じ電波を使用する機器が近くにあると、電波の干渉を受けることがあります。（☞ 13ページ）
- ドアホン親機との間に何も障害物がない場合、見通し約100 m以内の距離で使えます。

ドアホン親機との距離が離れていたり、100 m以内でも別の階や家屋で使ったり、間に障害物などがあるとき(☞ 12ページ)は、電波が弱くなり、電話/ファクスでのドアホン通話ができないことがあります。
また、付属の子機を電話/ファクス親機に登録しても、子機の電話機能が使えないことがあります。

↓

ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。

お知らせ

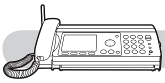
- ワイヤレスアダプター機能を使うときは
  - 別売のドアホンアダプターやインターホンは使えません。
  - 中継アンテナの登録が制限されます。（☞ 77ページ）

電話/ファクスを接続して使う (VL-SWN350KLのみ) (つづき)

ワイヤレスアダプター機能での接続をやめるとき（減設）

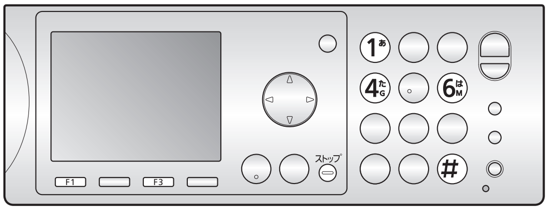
電話/ファクス親機に続けて、ドアホン親機を操作してください。

● 電話/ファクス親機の操作はKX-PW616の例です。その他の機種の場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。（機種によっては子機で操作する場合もあります）



電話/ファクス親機の操作

（KX-PW616）



1 機能 [F3] を押し、#①⑥④を押す

ﾜｲﾔﾚｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ設定

2 決定 [F3] を押す

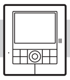
減設=1
増設=2

3 ①を押し、はい [F1] を押す

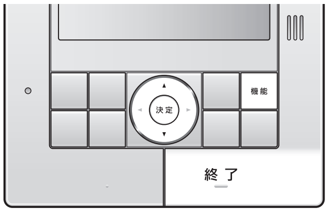
ﾄﾞｱﾎﾝを
減設しました

4 ストップ を押す

● 電話機は[取消]ボタンを押す



ドアホン親機の操作



5 [機能] を押し、(十字キー) で

[登録/減設(削除)]を選ぶ

機能設定

日時の設定
呼出音の設定
～
接続機器の設定
登録／減設（削除）

6 (決定) を押し、(十字キー) で[減設(削除)]を選ぶ

7 (決定) を押し、(十字キー) で

[ワイヤレスアダプター機能解除]を選ぶ

8 (決定) を押す

9 終わったら、

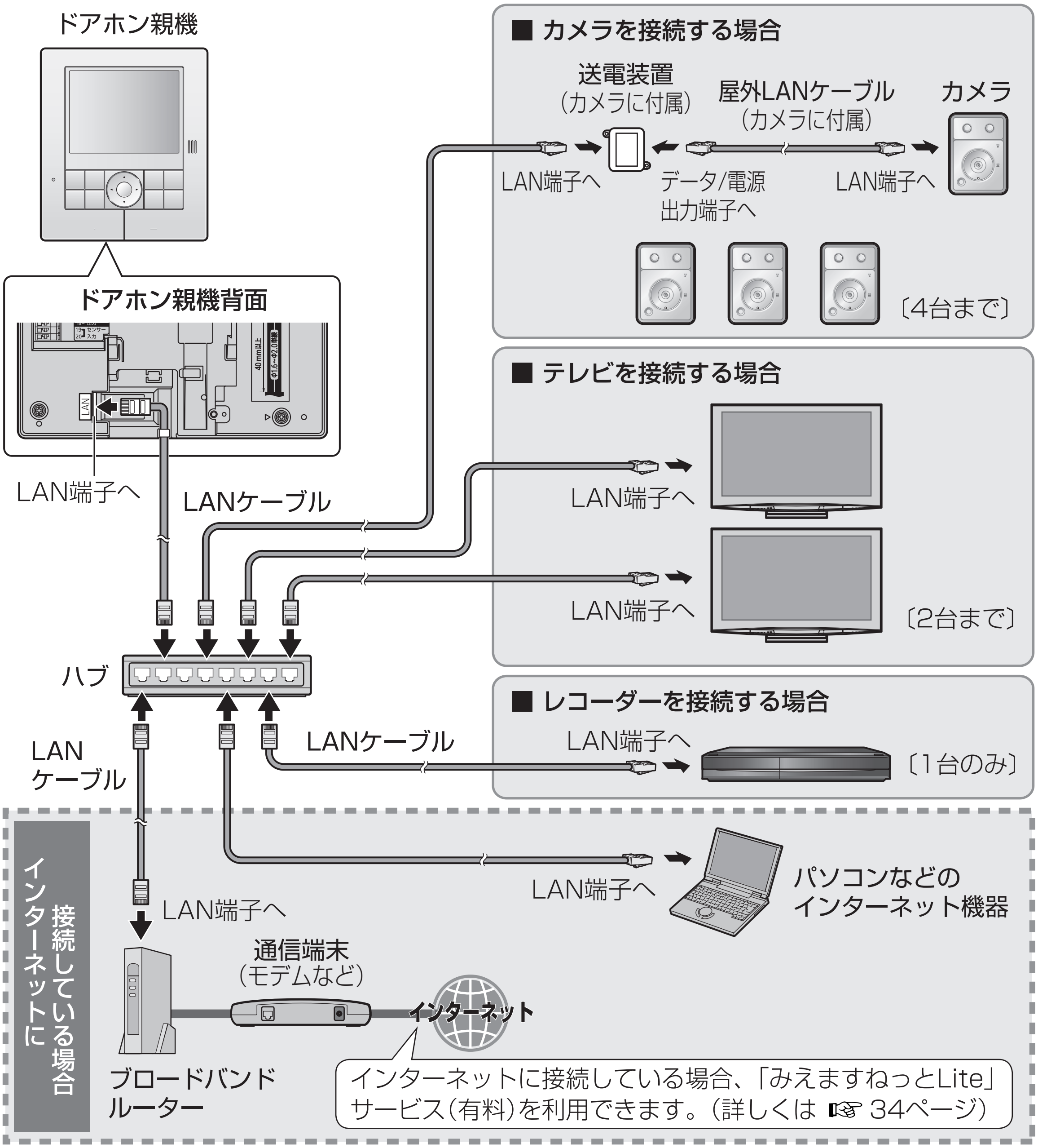
[終　了] を押す

カメラ・テレビ・レコーダーを接続するとき

各機器を使うには、ドアホン親機への接続と登録操作が必要です。

● **ご利用までの流れ(カメラは60ページ、テレビ/レコーダーは69ページ)を確認のうえ、接続や登録を行ってください。**

● 下図は接続例です。〔　〕内の台数は、ドアホン親機と連携できる最大の台数です。



お知らせ

● 設置済みのドアホン親機に接続する場合は、ドアホン親機を壁掛け金具から取り外す必要があります。(取り外しかた☞ 工事説明書)

● LANケーブルは市販品(ストレートケーブル)をお使いください。

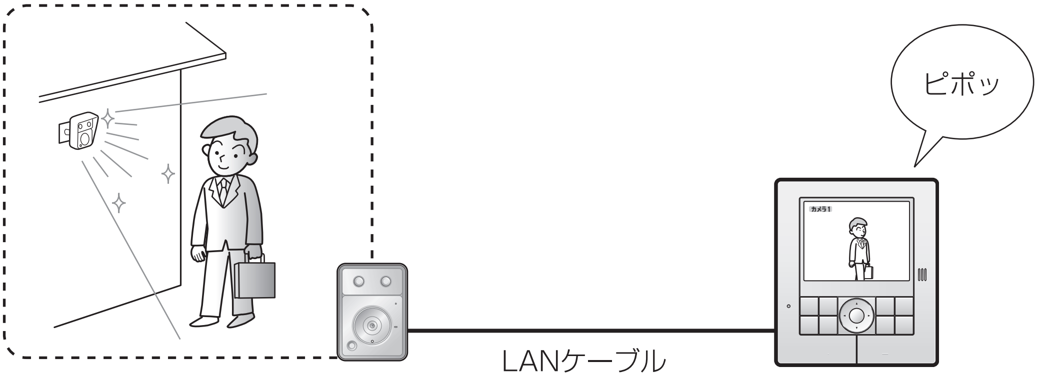
● ドアホン親機に連携させる機器が1台しかないときは、ドアホン親機と連携機器をLANケーブル(クロスケーブル)で直接接続できます。

カメラを使う

接続したカメラのセンサーが反応すると、ドアホン親機や子機に呼出音と映像でお知らせします。また、カメラ側が気になるときに映像を確認したり、映像の録画もできます。

●「みえますねっとLite」サービス(有料)を利用して、携帯電話でカメラの画像(静止画)を見ることもできます。(☞ 34ページ)

例)センサー反応時



●カメラを2台以上接続する場合は、別途ハブが必要です。

■ **接続できるカメラ**(松下電器産業(株)製:2008年6月現在)

センサーカメラ
品番: VL-CM140、VL-CM140KT、VL-CM160、VL-CM160KT

カメラを利用するまでの流れ

1 接続例を確認し、ドアホン親機と仮接続する ☞ 59ページ

●カメラ側の説明書もお読みください。
●接続は、カメラの電源を切った状態で行ってください。

2 ドアホン親機にカメラを登録する ☞ 61ページ

3 ドアホン親機にカメラの映像が映るかを確認する(カメラモニターの操作をする) ☞ 63ページ

4 あとは、カメラの設置場所で配線や設置を行う ☞ カメラ側の説明書

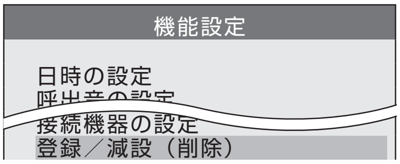
ドアホン親機にカメラを登録する

接続が終わったらカメラの電源を入れ、1分以上経過してから下記の操作で登録してください。

- 登録できるカメラは4台まで。
- 同時に複数のカメラを登録することはできません。複数のカメラを登録するときは、1台ずつ登録してください。
- カメラの操作はVL-CM160の例です。お使いのカメラの取扱説明書もあわせてお読みください。

ドアホン親機の操作

1 機能 を押し、◇ で
[登録/減設(削除)]を選ぶ



2 決定 を押し、◇ で[登録]を選ぶ

3 決定 を押し、◇ で[カメラ]を選ぶ

4 決定 を押し、◇ で登録する
カメラ番号を選ぶ

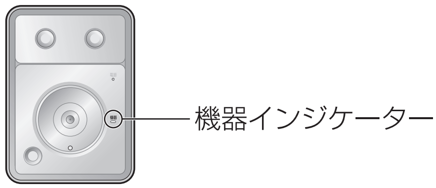
5 決定 を押す

続けて、約10分以内にカメラの操作をする

カメラの操作〈登録モードにする〉

6 カメラの電源コードを抜き差しして、電源を入れ直す

- しばらくすると※、カメラの機器インジケーターがオレンジ点滅し、登録モードになる（約５分間）
  ※約1分程度かかることもあります



- 機器インジケーターがオレンジ点滅し始めてから、約5分以内に手順7の操作を行ってください

ドアホン親機の操作

7 ◇ で[次へ]を選び、決定 を押す

- 登録が完了すると、カメラの機器インジケーターが緑点灯に変わる
  （ドアホン親機では「ピー」と鳴る）

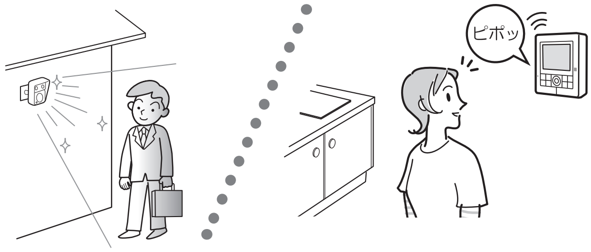
8 終わったら、 終 了 を押す

お知らせ

- カメラは、電源を入れてから約5分間、登録モードになります。
  登録モード中は、センサー検知がはたらきません。
  ➔ カメラの登録が終わったら、68ページのカメラの「電源投入時の登録モード」設定を「しない」にして、登録モードにならないようにすることをお勧めします。
  （詳細は、カメラの説明書で「登録モード/通常モード」の説明をお読みください）

カメラの映像を見る

カメラのセンサーが反応したとき



反応したカメラ



1

センサーが反応すると

呼出音が鳴り、カメラの映像が映る

- 映像は、約30秒で自動的に終了する
- もっと見たいとき ➔ 手順2へ

2

モニター を押す

- カメラの映像が、約90秒間表示される
  （こちらの声はカメラ側には聞こえません）
- モニターを途中でやめるには、 終 了 を押す

モニター中の機能

■画面の明るさを変えるには

明るさ/音量 機能 を押す➔ ◀▶ で変更

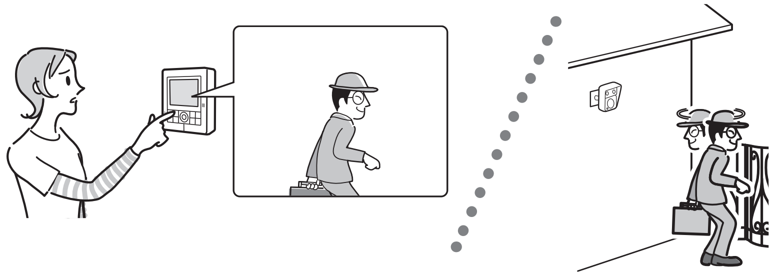
■表示中の映像を録画するには

録画 を押す

お知らせ

- **センサー反応時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。（☞ 64ページ）**
- **一度センサーが反応すると、約60秒間は次の反応を行いません。**
- **センサーが反応しても、呼出音を鳴らさないようにしたいとき（3つの方法があります）**
  - 41ページの設定で、カメラの「呼出音量」を「切」にする
    ➔設定したドアホン親機だけ、呼出音が鳴らなくなります。
  - 44ページの設定で、「カメラ呼出消音」の設定をする
    ➔ドアホン親機やすべての子機で、呼出音が鳴らなくなります。
  - 43ページの設定で、「鳴り分け」設定をする
    ➔カメラ着信（呼出音や映像表示）をやめることができます。
- **夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、カメラの機能設定の「明るさ設定」や「逆光補正」で設定を変更してください。（☞ 67ページ）**
- **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 80ページ）**

カメラ側の様子を見る（カメラモニター）



モニター中のカメラ



1 モニター を押し、◇ でモニターしたいカメラを選ぶ

ドアホン1
ドアホン2
ドアホン3
カメラ1
カメラ2

2 決定 を押す

- 選択したカメラの映像が、約90秒間表示される
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）
- モニターを途中でやめるには、 終了 を押す

モニター中の機能

■画面の明るさを変えるには

明るさ/音量 機能 を押す➔ ◇ で変更

■表示中の映像を録画するには

録画 を押す

お知らせ

- 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、カメラの機能設定の「明るさ設定」や「逆光補正」で設定を変更してください。（☞ 67ページ）
- モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 80ページ）

カメラ映像の録画について

ドアホン映像と合わせて最大100件まで、ドアホン親機に録画できます。
- カメラの場合、１件あたりの録画枚数は4枚(固定)です。
- 画像の再生・保護・消去のしかたは、ドアホン画像と同じです。(☞ 30～32ページ)

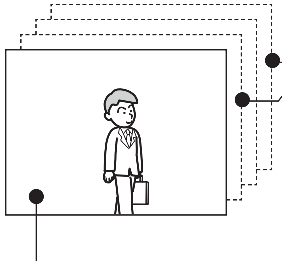
センサー反応時の自動録画

センサー反応時のカメラ映像は、下記のように自動で録画されます。



センサーが反応すると…

カメラの映像が自動録画される(4枚)



2～4枚目
(センサー検知後、約0.6秒おき)

１枚目(センサー検知直前の映像)

[モニター] を押さなかったとき…

録画した画像は未再生画像となり、下記のようにお知らせします

■在宅時(留守未設定時)

[再生] (再生は☞ 30ページ)

- 子機は、待ち受け画面に [アイコン] が表示されます。

■留守設定時

[留守] 留守録画として記録され、留守解除時に再生される(☞ 26ページ)

- 子機は、待ち受け画面に [ドアホン] が表示されます。

お知らせ

- 在宅(留守未設定)の場合、センサー反応時の映像表示中に [モニター] を押してモニターすると、録画した画像は再生済み扱いになります。
- 別の機器との通話中やモニター中にカメラのセンサーが反応したときは、[モニター] を押して映像を表示しないと録画されません。
- カメラ映像を４枚録画中に別の機器から呼び出しがあると、録画が中断され、１件あたりの録画枚数が少なくなることがあります。(最低１枚は録画されます)
- 自動録画しないように設定することもできます。
  ➔ドアホン親機の機能設定で、カメラの「センサー選択」を「録画OFF」にする(☞ 66ページ)

録画件数をドアホン画像とカメラ画像に振り分けて使う(録画件数振り分け)

録画したカメラの画像はドアホン画像と一緒にドアホン親機に記録され、2つの画像の合計が100件になると、新しい録画の際、画像の種類にかかわらず古い画像から自動的に消去されます。(画像の自動更新について詳細は☞ 29ページ)

46ページの「録画件数振り分け」の設定を「する」にしておくと、録画可能件数(最大100件)をドアホン画像用(60件)とカメラ画像用(40件)に分けることができるので、それぞれの画像ごとに自動更新ができるようになります。

映像を手動で録画する

着信中やモニター中のカメラ映像を、必要に応じて録画できます。



1 映像表示中、録画をしたいときに

録画 を押す

●約0.3秒おきの映像を4枚録画する



●録画中に表示され、終了すると消える

お知らせ

●手動で録画した画像は、再生済み扱いになります。(再生は☞ 30ページ)

■振り分け設定をしたときの自動更新例



カメラの機能を変える（機能設定一覧表）

使いかたに合わせて、カメラの機能を変更できます。
- 変更のしかたはページ下にあります。
- 機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。
- 各機能の詳細など、カメラ側の説明書とあわせてお読みください。
- [　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
センサー選択	[人感(熱)＋動作検知　録画 ON]、人感(熱)＋動作検知　録画 OFF、外部入力　録画 ON、外部入力　録画 OFF、OFF（センサー反応しない） ● センサー反応の種別〔人感(熱)センサー＋動作検知/外部入力〕とセンサー反応時の自動録画の有無(ON/OFF)を選ぶ • カメラのセンサーを使わず、カメラ側に別のセンサーなどを接続して使うときは、「外部入力」を選ぶ （接続できる機器については、カメラの説明書をお読みください） • **「録画 OFF」を選ぶと、在宅時も留守設定時も、センサー反応時のカメラ映像は自動録画されません(☞ 64ページ)**
人感(熱)センサー感度	高感度、[標準]、低感度、超低感度、検知しない ● 反応しにくいときは「高感度」、反応しすぎるときは、「低感度」や「超低感度」を選ぶ
動作検知感度	高感度、[標準]、低感度、超低感度 ● 小さな動作も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくないときは「低感度」や「超低感度」を選ぶ

設定を変更するとき

[機能] を押し、(上下) で［接続機器の設定］を選ぶ ➔ (決定) を押し、(上下) で［カメラ］を選ぶ

機能設定
- 日時の設定
- 呼出音の設定
- 応答の設定
- 録画再生の設定
- 留守の設定
- 接続機器の設定

接続機器の設定　1／2ページ
- カメラ
- ドアホン接続
- ドアホンの名前
- ドアホン照明自動点灯

● ［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
動作検知範囲	●動作を検知する範囲（領域）を選ぶ（「●」の付いた領域を検知します） 動作検知範囲 ●が付いた範囲を検知します ● 左上 ／ ○ 上 ／ ● 右上 ○ 左 ／ ● 中央 ／ ○ 右 ● 左下 ／ ● 下 ／ ● 右下 ［確定］　［中止］ 移動　◎選択／解除 画面の範囲はイメージで実際の検知範囲とは異なります。設定後にカメラ映像を見ながら確認してください。 • 検知させたくない領域があるときは、下記の手順で「●」を「○」にする ① ［十字キー］で領域を選ぶ ② ［決定］を押す （押すごとに「●」と「○」が切り替わる） ③ 必要に応じて①～②を繰り返す ④ 終わったら、［十字キー］で［確定］を選び、［決定］を押す
カメラ調整モード	**通常は「OFF」にしておいてください** ON（カメラ設置調整用）、［OFF（通常）］ ●カメラを設置するときなど、カメラのセンサー検知範囲を確認するときに、「ON」を選ぶ • 「ON」を選ぶと、センサー検知してもドアホン親機や子機への通知（呼出音と映像表示）がされなくなります ➔**カメラの調整が終わったら、必ず「OFF」に戻してください**
明るさ設定	（映像が暗くなる）　−4、−3、−2、−1、［0（標準）］、+1、+2、+3、+4　（映像が明るくなる） ●カメラ映像の明るさを調整する
逆光補正	ON、［OFF］ ●逆光補正をするときは、「ON」を選ぶ

→ ［決定］を押し、［十字キー］でカメラ番号を選ぶ ➔ ［決定］を押し、［十字キー］で上記の機能名を選ぶ

（例）
カメラ
カメラ１
カメラ２
カメラ３
カメラ４

↓
［決定］を押し、［十字キー］で上記の設定内容を選ぶ
↓
［決定］を押す　●終わったら、［終　了］を押す

カメラの機能を変える（機能設定一覧表）（つづき）

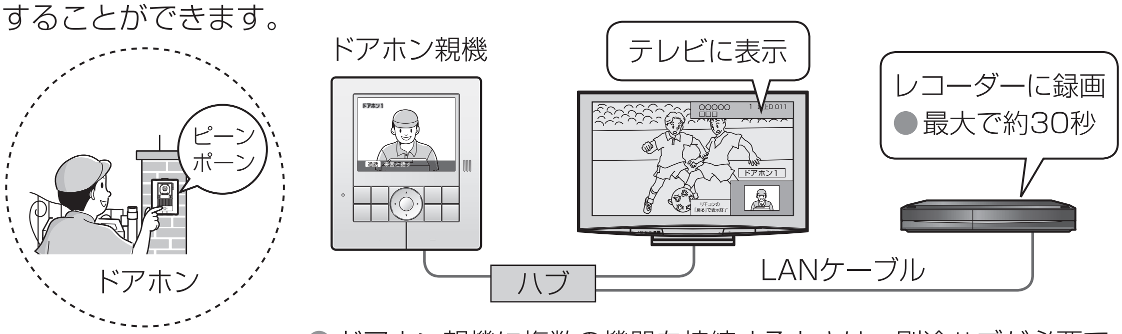
●［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
照明	自動点灯※1、［検知＋モニター］※2、検知＋モニター（暗いとき）※3、消灯※4 ●ライト付きのカメラ（VL-CM160/VL-CM160KT）の場合に、ライトを点灯させる条件を選ぶ ※1：カメラの「明るさセンサー」で明るさを検知し、暗くなると自動的に点灯する ※2：センサー検知やモニター時に、明るさに関係なく点灯する ※3：センサー検知やモニター時に、カメラ周辺が暗いと点灯する ※4：常時消灯
カメラ登録モード入	登録モードにする、通常モードにする、［戻る］ ●カメラを一時的に登録モードにすることができる（カメラをテレビなどのほかの機器に登録したいときに使う） •「登録モードにする」を選ぶと、約5分間登録モードになり、5分後に通常モードに戻る
電源投入時の登録モード	［する］、しない ●カメラの電源を入れたときや再起動時に、カメラが登録モードにならないようにしたいときは「しない」を選ぶ
カメラ詳細情報	●カメラの機器名、型番、モデル名、製造元、MACアドレスを確認できる ●ドアホン親機とカメラの接続に異常があるときは、機器の状況（異常の内容）も表示される（☞ 97ページ）
カメラアドレス	●カメラのIPアドレス、自己診断情報、ステータス情報を確認できる
みえますねっとLite	●カメラで「みえますねっとLite」サービスを利用するときに使う（詳しい内容と設定は☞ 34、38～40ページ）
カメラ検知履歴	●センサーの検知履歴（最大20件）を確認できる
カメラ再起動	はい、［いいえ］ ●カメラを再起動させるときは、「はい」を選ぶ
設定と登録のリセット	はい、［いいえ］ ●カメラの設定内容と登録情報をリセットし、お買い上げ時の状態に戻す •ドアホン親機からカメラの登録も解除されます

●設定変更の手順については（☞ 66ページ「設定を変更するとき」）

テレビやレコーダーを使う

ドアホン親機に接続すると、ドアホンの映像をテレビに表示したり、レコーダーに録画することができます。



● ドアホン親機に複数の機器を接続するときは、別途ハブが必要です。

■ 接続できるテレビ／レコーダー （松下電器産業（株）製：2008年6月現在）

● **テレビ**（ビエラ：デジタルハイビジョンテレビ）

品番： TH-65PZ750SK、TH-58PZ750SK、TH-50PZ750SK、TH-42PZ750SK、※
TH-50PZ800、TH-46PZ800、TH-42PZ800、TH-50PX80、TH-42PX80、
TH-37PX80、TH-50PZ80、TH-46PZ80、TH-42PZ80、TH-46PZ85、
TH-42PZ85、TH-37LZ85、TH-32LZ85、TH-37LZ80、TH-32LZ80、
TH-32LX80、TH-26LX80、TH-20LX80、TH-17LX8

● **レコーダー**（ディーガ：DVDレコーダー/ブルーレイディスクレコーダー）

品番： DMR-XW320、DMR-XW120、
DMR-XW300、DMR-XW200V、DMR-XW100、
DMR-BW900、DMR-BW800、DMR-BW700 ※

※ 網掛け部の機種は、別売のカメラとは接続（連携）できません。別売のカメラもテレビ/レコーダーと連携させたいときは、網掛け部以外の機種をご使用ください。

お知らせ

● 接続できる機器についての最新情報は、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html）を参照してください。

● 本書で使用しているテレビのイラストはTH-50PZ800、レコーダーのイラストはDMR-XW320を代表として記載しています。

テレビやレコーダーを利用するまでの流れ

1	**接続例を確認し、ドアホン親機と接続する** ●テレビやレコーダー側の接続についての詳細は、それぞれお使いの機器の取扱説明書をお読みください。	☞ 59ページ
2	**■ドアホン親機をテレビに登録する** **■ドアホン親機をレコーダーに登録する**	☞ 70ページ ☞ 72ページ
3	**テレビやレコーダーで、動作を確認する**	☞ 73ページ

テレビやレコーダーを使う（つづき）

ドアホン親機をテレビに登録する

接続が終わったらテレビの電源を入れ、3分以上経過してから下記の登録操作を始めてください。

- 登録できるテレビは2台まで。
- テレビの操作はTH-50/46/42PZ800の例です。お使いのテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビの操作

1 テレビのリモコンで **[メニュー]を押して、[▼][▲]で「設定する」を選び、[決定]を押す**



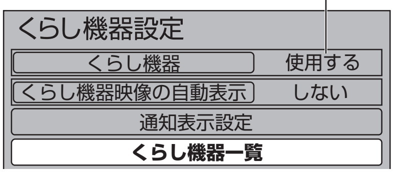
2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

3 **[▼][▲]で「設置設定」を選び、[決定]を3秒以上押す**

4 **[▼][▲]で「くらし機器設定」を選び、[決定]を押す**

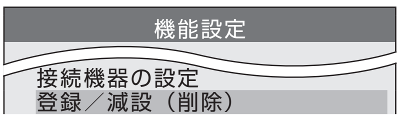
5 **[▼][▲]で「くらし機器一覧」を選び、[決定]を押す**

- 「くらし機器」の項目が「使用する」のときに操作できます



ドアホン親機の操作〈登録モードにする〉

6 **[機能] を押し、(◎) で[登録/減設(削除)]を選ぶ**



ドアホン親機の操作(つづき)

7 **(決定) を押し、(◎) で[登録]を選ぶ**

8 **(決定) を押し、(◎) で[AV機器]を選ぶ**

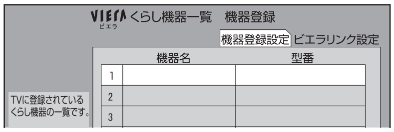
9 **(決定) を押す**

- 登録モードになる

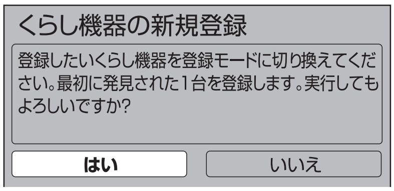
続けて、約5分以内に手順10、11の操作をする

テレビの操作

10 テレビのリモコンで **[緑]ボタンを押す**



11 **下記の画面が出たら、[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す**



- 登録が完了すると、手順10の画面にドアホン親機の情報が表示される

12 終わったら、**[元の画面]を押す**

13 **ドアホン親機の [終　了] を押す**

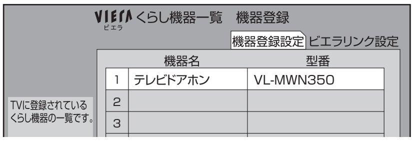
「ビエラリンク」メニューからドアホンの映像を見るには

ドアホン親機をテレビに登録後、下記の「ビエラリンク表示設定」を行うと、テレビの「ビエラリンク」メニューから必要なときにドアホンの映像を見ることができます。

●テレビの操作はTH-50/46/42PZ800の例です。お使いのテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビの操作

1 **70ページの手順1～5を行い、テレビに「くらし機器一覧」画面を表示させる**



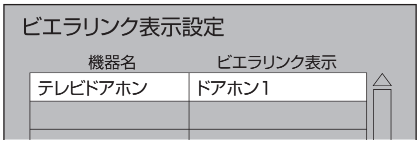
2 テレビのリモコンで

[赤]ボタンを押す

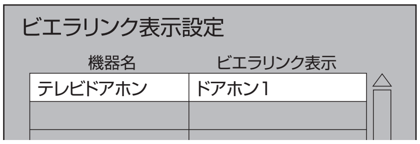
●「ビエラリンク設定」画面になる

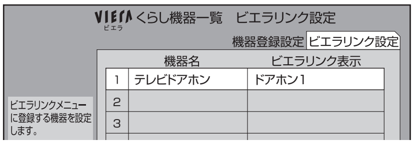
3 **[緑]ボタンを押す**

●設定できる機器の一覧が表示される



4 **[▼][▲]で「ビエラリンク」メニューに表示させたいドアホンを選び、[決定]を押す**





●選択したドアホンが、「ビエラリンク」メニューに追加される

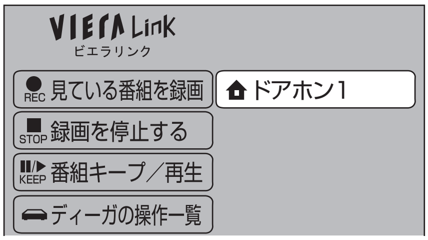
5 終わったら、**[元の画面]を押す**

お知らせ

●「ビエラリンク」メニューに設定できる台数やメニューからの削除のしかたは、テレビの取扱説明書をお読みください。

「ビエラリンク」メニューからドアホンの映像を見る

① テレビのリモコンで
[ビエラリンク]を押す



② **[▼][▲][◀][▶]で映像を見たいドアホンを選び、[決定]を押す**



■テレビに表示されるドアホンの映像について

ドアホンの映像は、約1秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）
使用環境によっては、更新速度が遅くなることがあります。

テレビやレコーダーを使う（つづき）

ドアホン親機をレコーダーに登録する

接続が終わったらレコーダーとテレビの電源を入れ、入力をレコーダーとの接続に合わせて切り換えておいてください(ビデオ1など)。（登録操作はレコーダーが停止中に行ってください）

- 登録できるレコーダーは１台のみ。
- レコーダーの操作はDMR-XW320/XW120の例です。お使いのレコーダーの取扱説明書もあわせてお読みください。

レコーダーの操作

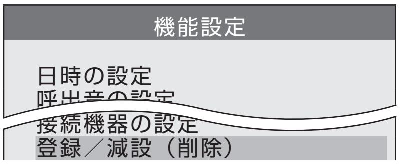
1 レコーダーのリモコンで
[操作一覧]を押して、[▼][▲]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

3 **[▼][▲]で「ネットワーク通信設定」を選び、[決定]を押す**

ドアホン親機の操作〈登録モードにする〉

4 **[機能]を押し、〔十字キー〕で[登録/減設(削除)]を選ぶ**



5 **[決定]を押し、〔十字キー〕で[登録]を選ぶ**

6 **[決定]を押し、〔十字キー〕で[AV機器]を選ぶ**

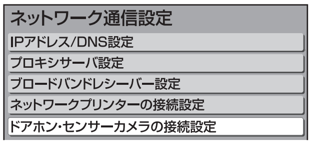
7 **[決定]を押す**

- 登録モードになる

続けて、約5分以内に手順8～12の操作をする

レコーダーの操作

8 レコーダーのリモコンの
[▼][▲]で「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、[決定]を押す



9 **[▼][▲]で「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、[決定]を押す**

10 **[▼][▲]で「入」を選び、[決定]を押す**

- メッセージを確認したら[戻る]を押す

11 **[▼][▲]で〈新規登録〉を選び、[決定]を押す**

12 **[▼][▲]で「する」を選び、[決定]を押す**

- 登録が完了すると、「登録が完了しました」と表示され、レコーダーの本体表示窓の“⌂”が点灯する

13 **[戻る]を数回押して、設定を終了する**

14 **ドアホン親機の [終 了] を押す**

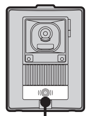
テレビやレコーダーで動作を確認する

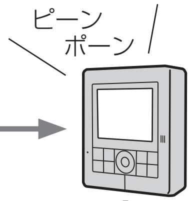
登録が終わったら、テレビやレコーダーで下記の準備を行い、正しく動作するか確認してください。

テレビ　　：くらし機器を使用する設定にしておく/テレビ放送を表示する
レコーダー：ドアホン録画ができる設定にしておく（本体表示窓の“ ”が点灯する）
● **設定を確認したら、レコーダーの電源は切っておいてください。**

■確認のしかた

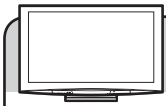
ドアホンの呼出ボタンを押す





ドアホン親機

（ドアホンの映像が送信される）

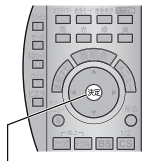


テレビの場合（例）

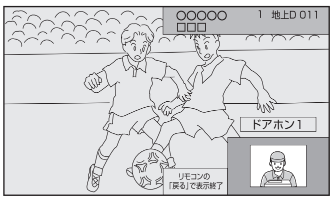
画面に通知メッセージが表示される



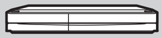
テレビのリモコンで



［決定］を押す

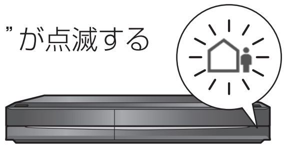


● ドアホンの映像が表示されれば、正しく接続・設定できています。



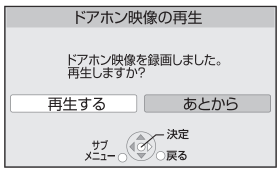
レコーダーの場合（例）

本体表示窓の“ ”が点滅する



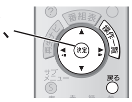
ここでレコーダーとテレビの電源を入れ、入力をレコーダーとの接続にあわせて切り換える（ビデオ1など）

画面に通知メッセージが表示される



レコーダーのリモコンで

「再生する」を選び、
［決定］を押す



● ドアホンの映像が表示されれば、正しく接続・設定できています。

お知らせ

● テレビやレコーダーの表示や操作について詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
● テレビに表示されるドアホンの映像について（☞ 71ページ）
● レコーダーでの録画は最大30秒です。レコーダーのみを登録してご使用の場合、ドアホンの映像は約0.2秒ごとに更新しながら録画されますが、登録されたテレビの台数や使用環境によっては、更新速度が遅くなることがあります。

テレビやレコーダーを使う（つづき）

登録したテレビやレコーダーの情報を見る

テレビやレコーダーのMACアドレスを確認したり、テレビやレコーダーにドアホンからの着信通知ができるかどうかを確認できます。

1 機能 を押し、〔上下ボタン〕で

[接続機器の設定]を選ぶ

機能設定
- 日時の設定
- 呼出音の設定
- 応答の設定
- 録画再生の設定
- 留守の設定
- 接続機器の設定

2 決定 を押し、〔上下ボタン〕で

[AV機器]を選ぶ

接続機器の設定
2／2ページ
- 外部機器ボタン
- AV機器

3 決定 を押す

AV機器
- 登録機器一覧

4 決定 を押す

● 各機器のMACアドレスと通知状況が表示される

登録機器一覧

種類	MACアドレス	通知
テレビ	XXXXXXXXXXXX	○
テレビ	XXXXXXXXXXXX	×
レコーダー	XXXXXXXXXXXX	○

○：ドアホンから通知できます
×：ドアホンから通知できません

5 終わったら、

終 了 を押す

登録したテレビやレコーダーを削除する

次のような場合は、ドアホン親機から不要なテレビやレコーダーの登録を削除してください。
- テレビやレコーダーとの連携（ドアホンからの通知）をやめたいとき
- すでに2台のテレビに登録しているが、別のテレビに登録し直したいとき

1 機能 を押し、▲▼ で

［登録/減設（削除）］を選ぶ

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
接続機器の設定
登録／減設（削除）

2 決定 を押し、▲▼ で

［減設（削除）］を選ぶ

登録／減設（削除）
登録
減設（削除）

3 決定 を押し、▲▼ で

［AV機器削除］を選ぶ

減設（削除）
子機減設
カメラ減設
中継アンテナ減設
ワイヤレスアダプター機能解除
AV機器削除

4 決定 を押し、▲▼ で削除する

機器を選ぶ

（例：レコーダーを削除）

AV機器削除

種類	MACアドレス	通知
テレビ	XXXXXXXXXXXX	○
テレビ	XXXXXXXXXXXX	○
レコーダー	XXXXXXXXXXXX	○

5 決定 を押し、◀ で

「はい」を選ぶ

削除しますか
はい　いいえ

6 決定 を押す

7 終わったら、

終了 を押す

子機を増やす （増 設）

VL-W606



別売の子機（☞ 83ページ）を、あと5台まで増やせます。

● VL-W606はドアホン/電話両用子機です。

- ドアホン機能を使うにはドアホン親機に
- 電話機能を使うには電話/ファクス親機に

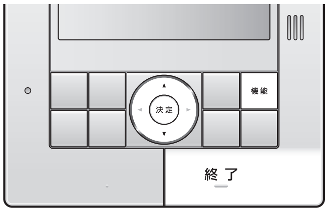
→ **それぞれ登録が必要です※**

※電話/ファクス親機への登録：VL-SWN350KLの場合（☞「子機編」19ページ）
VL-SWN355KLの場合（☞「ファクス親機編」86ページ）

ドアホン機能を使うとき（ドアホン親機に登録）

ドアホン親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

ドアホン親機の操作



1 **［機能］を押し、［↕］で［登録/減設(削除)］を選ぶ**

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定
留守の設定
接続機器の設定
登録／減設（削除）

2 **［決定］を押し、［↕］で［登録］を選ぶ**

3 **［決定］を押し、［↕］で［子機］を選ぶ**

4 **［決定］を押し、［↕］で増設する子機番号を選ぶ**

5 **［決定］を押す**

続けて、約2分以内に子機を操作する

増設する子機の操作

下記はVL-W606の例です。

6 **［機能］を押す**

● 下記のどちらかを表示

Ⓐ
子機増設
ドアホン
電話／ファクス

Ⓑ
機能設定
1/14
１操作説明
２子機の名前

■Ⓐの場合
① 続けて［↕］で［ドアホン］を選び、［決定］を押す

■Ⓑの場合
① 続けて［↕］で［子機増設］を選び、［決定］を押す
② ［↕］で［ドアホン］を選び、［決定］を押す

7 **［決定］を押す**

登録完了

8 終わったら、
ドアホン親機の［終 了］を押す

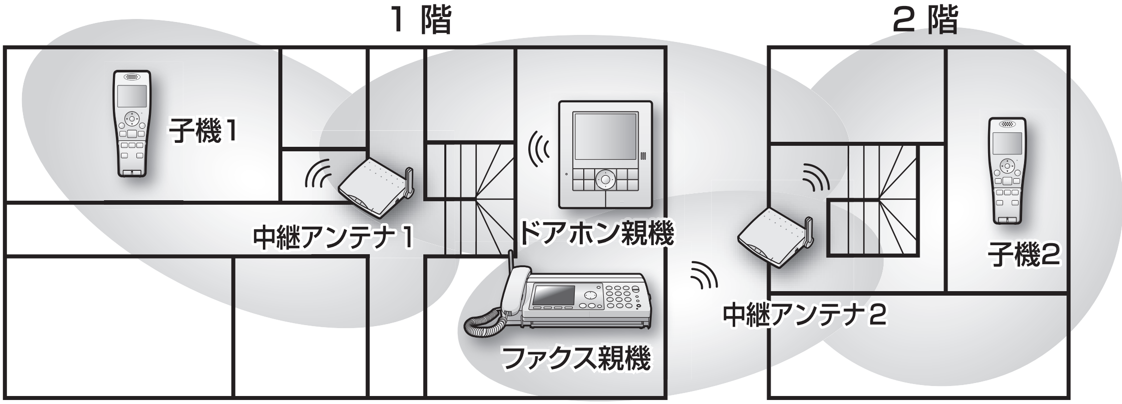
中継アンテナを設置する 増設

子機を使用するときに、通話の途切れや映像の乱れなどがある場合、別売の中継アンテナ（☞ 83ページ）を設置すると症状を改善できることがあります。

- 電話/ファクス親機※と子機間の通話の途切れなどの場合には、電話/ファクス親機への増設が必要です。（☞「ファクス親機編」88ページ）
  ※VL-SWN350KLの場合は、子機を別売の電話/ファクス親機へ増設時。
- 設置は**電話/ファクス親機側と合わせて最大2台まで**。1台につき、子機を1台中継できます。
- 部屋の造りや壁などにより電波の届く範囲が変わります。ドアホン親機や電話/ファクス親機にそれぞれ登録したあと、中継アンテナの説明書に従って適切な位置に設置してください。

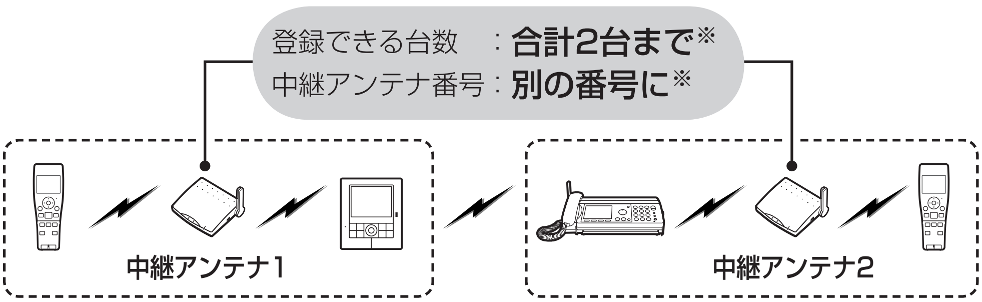
〈電波のイメージと設置例〉

- ドアホン親機と電話/ファクス親機に中継アンテナを1台ずつ登録し、1台を子機1用、1台を子機2用に使うとき



■ ドアホン親機と電話/ファクス親機に、それぞれ中継アンテナを登録して使うとき

VL-SWN355KLの場合や、VL-SWN350KLの場合で子機（VL-W606）を電話/ファクス親機に登録したり、ドアホン親機と電話/ファクス親機をワイヤレスアダプター機能で接続（☞ 56ページ）すると、親機同士を電波で接続します。
この場合、下記の設置例のように中継アンテナの登録が制限されます。



（ドアホン親機への設置例）　（電話/ファクス親機への設置例）

※3台以上登録しているときや、同じ番号になっているときは、ドアホン親機の画面表示でお知らせします。（☞ 97ページ）

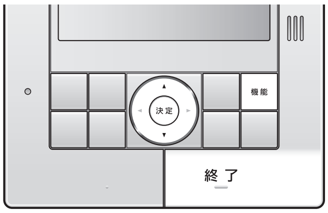
- ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には、中継アンテナは使えません。
- 1台の子機をドアホン/電話両用で使う場合、両方の親機から電波が届きにくい場所に子機を設置すると、中継アンテナが2台必要です。（両方の親機に登録が必要なため）
- 1台の中継アンテナを、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に登録することはできません。

中継アンテナを設置する（増設）（つづき）

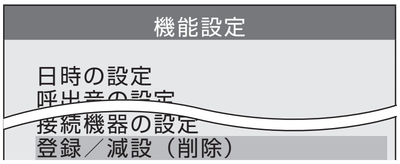
ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に中継アンテナを操作してください。

ドアホン親機の操作



1 機能 を押し、（上下ボタン）で
[登録/減設(削除)]を選ぶ



2 （決定）を押し、（上下ボタン）で[登録]を選ぶ

3 （決定）を押し、（上下ボタン）で
[中継アンテナ]を選ぶ

4 （決定）を押し、（上下ボタン）で増設する
中継アンテナ番号を選ぶ

5 （決定）を押し、（上下ボタン）で中継する
機器を選ぶ

- 中継機器は、あとで変更できる
（☞ 47ページ「中継アンテナ」）

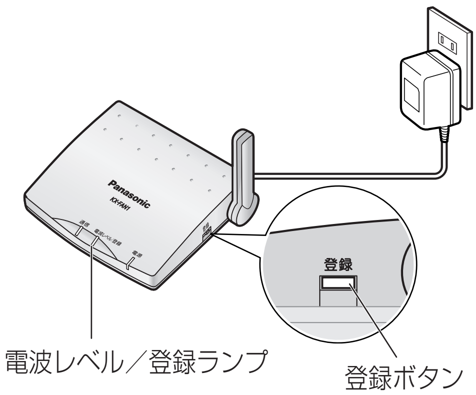
6 （決定）を押す

続けて、約2分以内に中継アンテナを操作する

増設する中継アンテナの操作

7 電源を入れた状態で、
登録ボタンを約3秒間押す

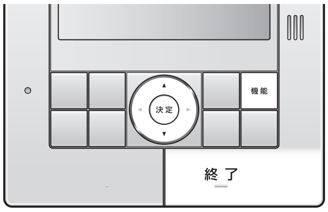
- 電波レベル/登録ランプが緑点滅する
- 登録が完了すると、ランプが点灯に変わる



8 終わったら、
ドアホン親機の 終了 を押す

子機・カメラ・中継アンテナを使わなくなったとき 減設

ドアホン親機から、それぞれの登録情報を削除(減設)してください。



1 機能 を押し、◇ で[登録/減設(削除)]を選ぶ

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
接続機器の設定
登録／減設（削除）

2 決定 を押し、◇ で[減設(削除)]を選ぶ

登録／減設（削除）
登録
減設（削除）

3 決定 を押し、◇ で減設する機器の種類を選ぶ

減設（削除）
子機減設
カメラ減設
中継アンテナ減設
ワイヤレスアダプター機能解除

4 決定 を押し、◇ で機器番号を選ぶ

(例：子機2を減設)

子機減設
子機 1
子機 2
子機 3

5 決定 を押す

6 終わったら、終 了 を押す

子機をドアホン/電話両用で使っていたとき

● **電話の子機としての利用もやめるときは、電話/ファクス親機からも減設してください。**
- 減設のしかたは、お使いの電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
(VL-SWN355KLの場合は☞「ファクス親機編」87ページ)

● **ドアホン親機、または電話/ファクス親機のどちらか一方から減設して、電話専用またはドアホン専用子機として使うときは、必ず子機の「動作モード」の設定を変更してください。**
(例) ドアホン親機から減設して、電話専用で使うとき
➔ 子機の「動作モード」を「電話」に変更(☞「子機編」53ページ)

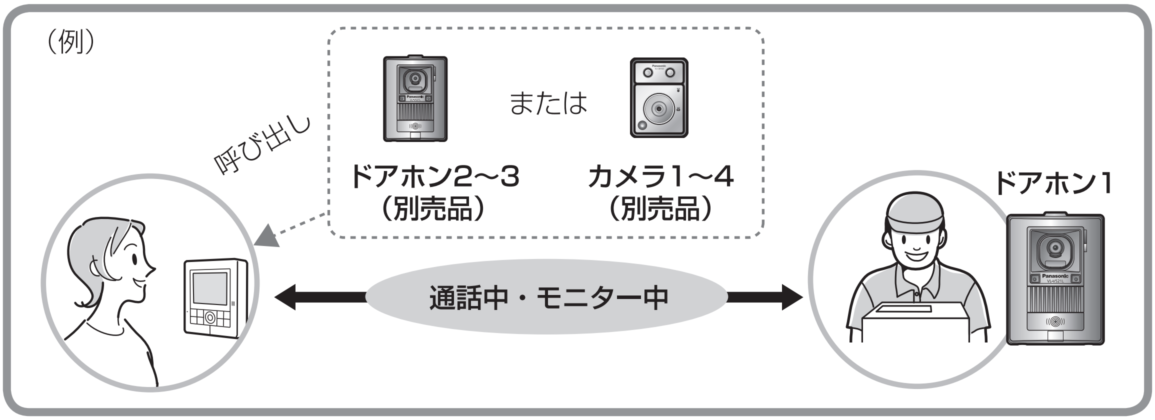
「動作モード」を変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が圏外となって使えないことがあります。

お願い

● 誤動作防止のため、減設後は下記のことを行ってください。
- 子機の場合 ➔ 電池パックを外す
- カメラや中継アンテナの場合 ➔ ACアダプターを抜く

通話中・モニター中に 別の呼び出しがあったとき

別の機器からの呼び出しは、通話中･モニター中に呼出音や画面表示などで通知されます。
通話中・モニター中の機器にのみ通知されるので、下記の操作で確認してください。





1 通話中・モニター中に、
別のドアホンやカメラから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、[モニター] が点滅する

● 画面には、呼び出してきた機器名を表示

2 呼び出してきたドアホンやカメラの映像を
見るには

[モニター] を押す

● 元の通話やモニターが終了し、映像が
切り替わる

ドアホンの場合

映像とともに周囲の音が聞こえますが、
こちらの声はドアホン側には聞こえません。

● ドアホン側の相手と話すには
[通 話] を押す

3 終わったら、[終 了] **を押す**

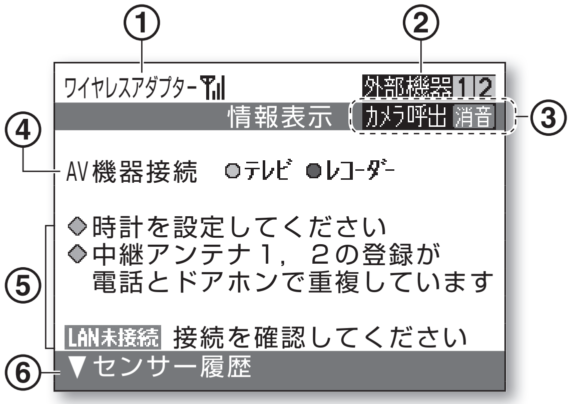
お知らせ

● ドアホン通話を録音中に別の呼び出しがあったときは、呼出音が鳴りません。
（[モニター] の点滅と画面表示のみでお知らせします）

情報表示画面について

情報表示画面には、本機や本機に接続(登録)した機器などに関する情報が表示されます。

- 情報表示画面は、待ち受け中(待機中)に (決定) を押すと表示されます。
- 状態に応じて表示内容が変化するので、ときどき表示を確認してください。



① ファクス親機からの電波状態を表示する※
※VL-SWN350KLの場合は、ワイヤレスアダプター機能(☞ 56ページ)で接続した電話/ファクス親機からの電波状態を表示する



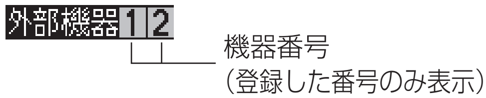
- 「圏外」のときは下記のメッセージが表示され、**電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません**

  ◇ワイヤレスアダプターが圏外です
  ［ ▶ ］で電話／ファクスを探す

  ➔電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、上記画面の状態で (▶) を押してください

- 上記操作後も「圏外」になるときや電波が弱いときは、電波の強い場所へ電話/ファクス親機を設置し直してください
  - 再び「圏外」になったときは、再度上記画面で (▶) を押してください

② 電気錠やエアコンなどの機器を接続し、ドアホン親機に登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する(☞ 54ページ)



- **施錠 または ON のとき** 1 ― 緑
- **解錠 または OFF のとき** 1 ― 黒

③ カメラ呼出 消音
ドアホン親機とすべての子機で、カメラ呼出音が鳴らない(消音)設定になっているときに表示する
(☞ 44ページ「カメラ呼出消音」設定)

④ テレビやレコーダーを接続してご使用のとき、テレビやレコーダーとの通信状態を表示する

○テレビ ●レコーダー

- ○ (点灯)：通信していない状態
- ☀ (点滅)：通信中
- ● (消灯)：通信できない状態
  (接続またはテレビ/レコーダーの設定を確かめてください)

⑤ 状態に応じた注意喚起メッセージを表示する(☞ 97ページ)

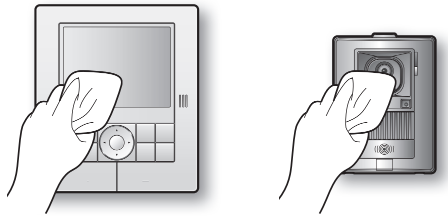
⑥ 火災警報器、外部センサー、地震警報器のいずれかを接続してご使用のとき、各機器からの通知履歴(日時)を確認できる
(☞ 52ページ)

必要なとき お手入れ

お手入れするときは、ドアホン親機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

柔らかい布で、からぶきする

● 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。



お願い

● お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因になります）

必要なとき 仕様

■ ドアホン親機（モニター親機）

電　源	AC 100 V (50 Hz／60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約1.9 W 動作時　　：約10 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	190 ×165 × 39 (突起部除く)
質　量	約820 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃ ～ +40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	5.2型IPS-TFTカラー液晶ディスプレイ
通話方式	ハンズフリー方式
取付方法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
A接点出力※	定格負荷： AC、DC 24 V／0.3 A以下 最小適用負荷： DC 5 V／1 mA
センサー入力	入力方式：無電圧メイク接点 検出確定時間：0.1秒以上 接点抵抗値： • メイク時　：500 Ω以下 • ブレイク時：5 kΩ以上 端子間短絡電流：5 mA以下 端子間開放電圧：DC 7 V以下
LANインターフェース	10Base-T/100Base-TX

■ ドアホン（カメラ玄関子機）

電　源	ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	128 × 93 × 36.5 (突起部除く)
質　量	約180 g
使用環境条件	周囲温度：-10 ℃～+50 ℃ 湿度　　：90 % 以下
取付方法	露出型： JIS1 個用スイッチボックス (カバー付き)適合
外観材質	難燃樹脂
最低被写体照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)、赤外線LED

● 子機の仕様は「子機編」の66ページに記載しています。

● VL-SWN355KLの場合、ファクス親機の仕様は「ファクス親機編」の95ページに記載しています。

※ ドアホンからの呼び出し時や、別売のカメラ・火災警報器・外部センサー・地震警報器の反応時に出力

必要なとき

別売品・推奨品一覧

品番および価格は2008年6月現在のものです。内容は追加·変更になる場合があります。

（本機に接続できるテレビ/レコーダーは、69ページに記載しています。
また、VL-SWN350KLに接続できる電話/ファクスは、55ページに記載しています。）

■別売品（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください）

製品名		品番	希望小売価格(税込)
カメラ玄関子機	露出型	VL-V521L-S ※1	28,350 円
カラーカメラ玄関子機	露出型	VL-V564-K	25,200 円
		VL-V565-K	25,200 円
	埋込型	VL-V552-S	44,940 円
ワイヤレスモニター子機（ドアホン/電話両用）		VL-W606 ※2	29,400 円
ワイヤレスモニター子機用電池パック 松下テクニカルサービス（株）扱い		KX-FAN51※3	2,310 円
中継アンテナ		KX-FAN1	12,600 円
センサーカメラ	屋外タイプ	VL-CM140、VL-CM140KT	オープン価格 ※5
	ライト付屋外タイプ	VL-CM160、VL-CM160KT	オープン価格 ※5
インターホン※4		VL-A467LAX	13,440 円
		VL-A467LAK	13,440 円
		VL-A468LA	12,075 円
		VL-F411X-W	12,915 円
ドアホンアダプター※4		VE-DA10-H	10,500 円
テレコントロール用エアコンアダプタ 松下電工（株）配管機材（事）扱い		CZ-TA2	4,463 円
電気錠操作器 松下電工（株）HA・セキュリティ（事）扱い		WQN4503W	52,500 円

※1 付属のドアホン（カメラ玄関子機）と同じ仕様です。
※2 付属の子機と同じ仕様です。
※3 付属の子機用の電池パックです。
※4 VL-SWN350KLのみ
※5 この製品には、希望小売価格が設定されておりません。

■推奨品

製品名		品番	
光るチャイム	松下電工（株）製	EC170（P）	
メロディサイン	松下電工（株）製	乾電池式	EC5227W（P）、EC5117WKP、EC5347
		AC100 V式	EC710K、EC721K、EC730W
回転灯	（株）パトライト製	KJS-110、KJSB-110、KES-110	
住宅用火災警報器（移報接点付き）	松下電工（株）製	ねつ当番	SH28113、SH28153
		けむり当番	SH28413、SH28453
	能美防災（株）製	熱検知式	FSLJ006-Sシリーズ
		煙検知式	FSKJ216-Sシリーズ
移報接点アダプタ※6	松下電工（株）製	SH2890	
MAMORIE ワイヤレスセキュリティ受信器※7	松下電工（株）製	ECD6101K	
緊急地震速報受信装置 デジタルなまず	（株）3Softジャパン製	SH200-J	

※6 連動型の住宅用火災警報器を本機に接続するためのアダプタです。
接続できる火災警報器については、アダプタの説明書をご覧ください。
※7 ワイヤレスで、センサーとの配線が不要なセキュリティシステムです。
接続できるセンサー類は、ワイヤレスセキュリティ受信器の説明書をご覧ください。

困ったとき

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
画面表示(ドアホン映像)		
被写体が白黒(または青紫)っぽく映ったり、背景が緑っぽく映る	●夜間などドアホンの周囲が暗いときに、ドアホンのLEDライトが消灯していると、色味が落ちるため、被写体が白黒(または青紫)っぽく映ります。また、外灯などで明るいところや白い壁が緑っぽく映りますが、故障ではありません。 ➔ 夜間など、暗いときはドアホンのLEDライトを点灯させてください。 (別売のドアホンでLEDライトが付いていない場合、この操作はできません。)	21 47
人の顔が暗く映る	●ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 ➔ 映像表示中に、[明るさ/音量 機能] で逆光補正をしてください。 (別売のドアホンで逆光補正機能がない場合、この操作はできません。逆光にならない位置に、設置し直してください。)	21
映像がはっきりしない・焦点が合わない	●ドアホンのレンズカバーが汚れていませんか? ➔ 柔らかい乾いた布でふいてください。 ●ドアホンのレンズカバーが結露していませんか? ➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	82 –
映像全体が白っぽい、または黒っぽい	●明るさの設定は適切ですか? ➔ 映像表示中に、[明るさ/音量 機能] で明るさを調節してください。	21
映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される	●ドアホンのレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません) ➔ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。	–
画面全体がちらつく	●ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか? ➔ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。(故障ではありません)	–
録画した画像の画質が粗い	●8枚録画の場合、1枚録画に比べて画質が低下します。 ➔ 画質を優先したいときは、ドアホン親機で、「ドアホン録画数」の設定を「1枚」にしてください。	45

こんなとき(症状など)		原因と対応	ページ
画面表示(ドアホン映像/その他)	**録画再生で、録画日時が「--/--(--)--:--」となっている**	●日付・時刻が設定されていません。 ➔ ドアホン親機で、日付・時刻を設定してください。	19
	夜間に録画されたドアホン画像が暗い	●夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➔ ドアホン親機で、「録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。	46
ドアホン通話/室内通話	**ドアホンの映像が映っているのに、ドアホン親機で通話や録画などの操作ができない**	●電話/ファクスで、すでにドアホン通話やモニターをしていませんか? ➔ 電話/ファクスでドアホン通話やモニターをしているときは、ドアホン親機にも最大3分間映像が映りますが、通話や録画などの操作はできません。	–
	通話が途切れる または、ほとんど聞こえない	●自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか? ➔ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。	21
		●子機との通話の場合 • 子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか? ➔ アンテナ部から手を離してください。 	–
		• 子機が、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか? ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。 移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。	12 77
		• 近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか? ➔ 子機をドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	13

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
ドアホン通話／室内通話	雑音(ハウリング)が聞こえて通話できない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 ➔ 少し離れた場所で通話してください。	–
	相手に、こちらの声がまったく聞こえない（こちらには相手の音声が聞こえる）	●プレストーク通話になっていませんか？（ を表示） ➔ プレストーク通話では、［通 話］を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。	21
	音声応答がうまくいかない	●応答の声が小さかったり、「はーい」などの声を長く（約１秒以上）伸ばしすぎると、うまく応答できません。 ➔ 「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。	20
モニター（ドアホン・カメラ）	指定したモニター先につながらず、「着信中の○○○を表示します」と出て、別の機器の映像が表示される	●「鳴り分け」の設定（☞ 43ページ）で、「鳴らない」に設定した機器から着信中のため、着信中の映像が表示されます。 ➔ モニター先を切り替えるには、［モニター］を押してください。	23 63
呼出音	ドアホンや別売のカメラからの呼出音が鳴らない	●呼出音量が「切」になっていませんか？ ➔ 呼出音量「切」を解除してください。 ●ドアホン親機の「鳴り分け」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「鳴り分け」設定を確認してください。 ●カメラの場合、ドアホン親機の「カメラ呼出消音」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「カメラ呼出消音」設定を確認してください。	41 43 44

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
ドアホンの留守設定	留守設定したのに • 用件が録音されない • 相手に応答メッセージが流れない	● お買い上げ時の設定では、留守設定時に録画のみを行い、応答メッセージも流れません。 ➔ 用件を録音するには、留守設定時に設定を変更してください。 ● 録音は最大25件です。未再生の留守録画と保護設定した画像のうち、音声付き画像が合計25件あると、それ以上は録音されません。 (応答メッセージも流れません) ➔ [留守] を押して、未再生の留守録画を再生すると、録音できるようになります。	26 26
	留守解除できない (留守ランプの点滅が消えない)	● 未再生の留守録画をすべて再生するまで、留守解除されません。 ➔ [留守] を押して、未再生の留守録画を再生してください。	26
	留守ランプが速く点滅している	● 録音がいっぱい(25件)で、これ以上録音できません。録画はできます。 ➔ [留守] を押して、未再生の留守録画を再生してください。	26
電話／ファクスでのドアホン通話	(VL-SWN350KLのみ) ドアホンアダプターで接続した電話／ファクスで • ドアホンの呼出音が鳴らない • ドアホン1、2の呼び出しが、どちらも「ドアホン1」と表示される • ドアホンに応答できない	**● ドアホンの呼出音が鳴らないとき** • 6極6芯コードと6極2芯コードが逆になっていませんか？ ➔ 配線を確認してください。 • 電話/ファクスとドアホンアダプターの電源プラグを差し込み直してください。 • ドアホンを3台ご使用の場合、電話/ファクスでは、3台目(ドアホン3)からの呼び出しは受けられません。 **● ドアホン1、2の呼び出しが、どちらも「ドアホン1」と表示されるとき** • ドアホン親機の「拡張機器」の設定が、「インターホン」になっていませんか？ ➔ ドアホン親機で、設定を「ドアホンアダプター」に変えてください。 **● ドアホンに応答できないとき** • ドアホン親機や子機で、先にドアホン呼び出しに応答すると、電話/ファクスでは着信状態を約30秒間継続しますが、応答できません。	– 47 –

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
電話／ファクスでのドアホン通話	VL-SWN350KLのみ **ワイヤレスアダプター機能で接続した電話／ファクスで** **• ドアホンの呼出音が鳴らない** **• ドアホン通話が途切れる**	● ワイヤレスアダプターの設定（増設）は完了していますか？ ➔ 設定を完了してください。 ● ドアホン親機と電話/ファクス親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機で電波状態を確認し、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。 別売の中継アンテナで、親機同士の電波の中継はできません。 ● 近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ これらの機器から離してご使用ください。 ● 上記の操作を行っても改善されないときは、ドアホン親機のリセットスイッチを先端の細いもので押してください。（ドアホン親機に録画した画像、登録した設定内容、応答メッセージなどは消えません） ● **ドアホンを３台ご使用の場合で、3台目（ドアホン3）からの呼出音が鳴らないとき** • 電話/ファクスでは、3台目（ドアホン3）からの呼び出しは受けられません。	56 57 81 13 16 –
インターホンでのドアホン通話	VL-SWN350KLのみ **接続したインターホンで** **• ドアホン2、3の呼出音が鳴らない** **• ドアホンに応答できない**	● **ドアホン2、3の呼出音が鳴らないとき** • ドアホン親機の「拡張機器」の設定が、「ドアホンアダプター」になっていませんか？ ➔ ドアホン親機で、設定を「インターホン」に変えてください。 ● **ドアホンに応答できないとき** • ドアホン親機や子機で、先にドアホン呼び出しに応答すると、インターホンでは着信状態を約30秒間継続しますが、応答できません。	47 –

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
火災警報器/外部センサー/地震警報器との連動	接続機器が反応しているのに、ドアホン親機や子機に通知されない ・通知音が鳴らない ・通知画面が出ない	●配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	–
	外部センサー(MAMORIE)が反応しているのに、ドアホン親機や子機の通知音が鳴らない、または鳴るのが遅い	●ドアホン親機や子機の通知音は、MAMORIEの設定によって、鳴り出すタイミングが異なります。 ➔ 詳しくはMAMORIEの説明書をお読みください。	–
	地震警報器(デジタルなまず)が反応しているのに、ドアホン親機や子機では、通知音や通知画面がすぐに(約5秒間で)終了してしまう	●デジタルなまず(SH200-J)の外部接続端子は2ポートあり、接続するポートによってドアホン親機と子機への通知時間が変わります。 ➔ 詳しくはデジタルなまずの説明書をお読みください。	–
電気錠などの操作	電気錠などの機器を施錠(またはON)しても外部機器ランプが点灯しない	●電気錠などの機器を、外部機器ボタンに2台登録していませんか? ➔ 外部機器ランプは、登録された機器が1台の場合のみ、施錠(またはON)中に点灯します。	54

困ったとき（つづき）

こんなとき（症状など）		原因と対応	ページ
カメラ／テレビ／レコーダーとの接続（通信）について	カメラ/テレビ/レコーダーと通信できない	● ドアホン親機に、各機器が登録されていますか？ ➔ 登録しないと通信できません。各機器を登録してください。	61 70~73
		● ドアホン親機と各機器間のLANケーブルが、正しく接続されていますか？ ➔ 各機器の説明書も参照のうえ、正しく接続されているか確認してください。	59
		➔ テレビやレコーダーとの通信ができない場合はテレビやレコーダー側で、ドアホン親機とのネットワーク接続や設定も確認してください。	—
		● ハブをご使用の場合、ハブのLinkランプが消灯していませんか？ ➔ 電源や接続を確認してください。	—
		● ルーターをご使用の場合は次のことを確認してください。 • ルーターの電源が入っていますか？ ➔ ルーターの電源を入れてください。ルーターのDHCP機能により、各機器のIPアドレスが自動的に割り当てられると、ドアホン親機と通信ができるようになります（IPアドレスの取得には、3分程度かかる場合があります）。ルーターの電源は常に入れた状態にしておいてください。	—
		• ルーターを再起動したり電源を入れ直すと、各機器との通信ができなくなることがあります。 ➔ ルーターの電源が入っていることを確認し、ドアホン親機のリセットスイッチ（☞ 16ページ）を先端の細いもので押して再起動してください。 （ドアホン親機に録画した画像、登録した内容、応答メッセージなどは消えません） 次に、カメラ、テレビ、レコーダーの電源を入れ直してください。	—
		〈上記の確認後もカメラとの通信ができないとき〉 ● カメラの設定画面やカメラ本体の初期化ボタンで、カメラをお買い上げ時の状態に戻していませんか？ ➔ ドアホン親機で、カメラを登録し直してください。	61

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
カメラのセンサー反応について	**カメラモニターはできるが、センサー反応時の通知がこない**	●カメラの「センサー選択」設定が、「OFF（センサー反応しない）」になっていませんか？ ➔「OFF」以外に変えてください。	66
		●ドアホン親機の「鳴り分け」設定で、カメラからの着信を「鳴らない」に設定していませんか？ ➔「鳴り分け」設定を確認してください。	43
		●カメラをテレビやレコーダーと連携させていて、テレビの操作で、カメラに登録していたドアホン親機を削除していませんか？ ➔誤って削除したときは、いったんドアホン親機からカメラの登録を削除し、再度カメラをドアホン親機に登録し直してください。	79 61
	車が通るたびにセンサーが反応する	●撮影範囲に車が映ると、動作を検知して反応します。また、車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m以上離れていても、人感（熱）センサーが温度変化を検知すると反応します。 ➔できるだけ、カメラを車道に向けないように設置するか、角度を調節してください。	–
		➔動作検知の場合、車が映る範囲を検知しないように、ドアホン親機で、カメラの「動作検知範囲」の設定を変更してください。	67
		➔人感（熱）センサーの場合、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って、検知範囲の調整ができます。（詳細は☞ カメラの説明書）	–
	正面方向から近づいてくる人を検知できない	●カメラのセンサーは、横からの動きは検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなっています。 ➔できるだけ、カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。	–
		➔正面方向から近づいてくる人を検知して映したいときは市販の外部人感センサーをご使用ください。（詳細は☞ カメラの説明書）	–
	人が通っていないのに人感（熱）センサーが反応する	●換気扇やエアコンの室外機、給湯器などから吹き出る風や、風で動くような植木や洗濯物などがあると、人が通っていなくても反応することがあります。 ➔カメラの設置場所を変えるか、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って、人感（熱）センサーの検知範囲を調整してください。（詳細は☞ カメラの説明書）	–

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
カメラのセンサー反応について	センサーが反応しない • 人感（熱）センサーや動作検知がはたらかない	●センサー検知後、約60秒間は検知を行いません。 ●カメラの「センサー選択」設定が、「OFF（反応しない）」または「外部入力」になっていませんか？ ➔「人感（熱）＋動作検知」に変えてください。 ●カメラが登録モードになっていませんか？ カメラの電源を入れたあと、約5分間は登録モードになり、センサー検知は行いません。 ➔ドアホン親機で、カメラの「電源投入時の登録モード」設定を、「しない」にすると、電源を入れたときやカメラを再起動したときに、登録モードにならないようにできます。	66 68
	人感（熱）センサーが誤動作する	●カメラを下記のような場所に設置すると、誤動作することがあります。 • 直射日光のあたるところ • 冷暖房室外機の近くなど、温度変化の激しいところ • 油汚れがついたり、蒸気がかかるところ • 携帯電話など強い電波を発する製品の近く • 外灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ • 検知範囲に洗濯物、カーテン、植木、車などの動くものがあるところ • 検知範囲内に、交通量の多い道路があるところ	－
		●犬、猫など、小動物に対しても反応することがあります。	－
		●冬場など、気温が低いと検知距離（5 m）が長くなり、検知しすぎることがあります。 ➔ドアホン親機で、カメラの「人感（熱）センサー感度」設定を、より低い感度に変更してください。	66
		●センサー検知範囲に雨や雪が入ると反応することがあります。	－
	人感（熱）センサーが反応しない	●人感（熱）センサーは、暗くなると動作するようになっていますので、明るい環境では反応しません。	－
		●下記の場合は、反応しないことがあります。 • 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるとき • 人感（熱）センサーに雪が付いたとき • 正面方向から人が近づいてきたとき（☞91ページ「正面方向から近づいてくる人を検知できない」）	－
		●夏場など、気温が高いときは検知しにくくなります。また冬場など、厚手の服を着ていると検知しにくくなります。 ➔ドアホン親機で、カメラの「人感（熱）センサー感度」設定を、より高い感度に変更してください。	66

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
カメラのセンサー反応について	人感(熱)センサーが反応しにくくなった	●人感(熱)センサーの表面が汚れていませんか？ ➔ 表面を柔らかい乾いた布でふいてください。	–
	動作検知が反応しない	●被写体の動きが小さい場合には、検知しないことがあります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「動作検知感度」設定を、より高い感度に変更してください。	66
		〈VL-CM160/VL-CM160KT のみ〉 ●カメラのLEDライトが点灯したときは、誤検知防止のため、最大2秒間は動作検知しません。	–
	動作検知が誤動作する	●動作検知範囲に洗濯物、カーテン、植木など、風で動くものや、車などの交通量の多い道路があると、誤動作することがあります。また、犬や猫などの小動物にも反応することがあります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「動作検知範囲」設定を調整してください。または、「動作検知感度」設定で感度を調整してください。	67 66
		●雪や雨が降っていると、反応することがあります。	–
カメラの映像表示について	映像が適切な明るさにならない	●カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。 ➔ 約１秒ほどお待ちください。自動で補正されます。	–
	被写体がぶれる	●動きのある被写体を映すとぶれることがあります。(故障ではありません)	–
		●カメラを暗い場所で使用したり、暗い被写体を撮影しているときは、シャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。 ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。 （VL-CM160/VL-CM160KTにはLEDライトが付いていますが、照明としての十分な光量はありません）	–
	映像に白点または色のついた光の点が表示される	●カメラを暗い場所で使用したり、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。(故障ではありません) ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。 （VL-CM160/VL-CM160KTにはLEDライトが付いていますが、照明としての十分な光量はありません）	–

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
その他	・画面に「展示モード」と表示されている ・呼出音が定期的に鳴る ・通話ができない	●ドアホン親機の機能設定で「展示モード」が設定されています。 ➔ 機能設定の「その他の設定」から「モード切替」を選び、「展示モード」の設定を「しない」にしてください。 （設定のしかた48、49ページ下）	49
その他	停電のとき使えますか？	●使えません。ドアホン親機は、日付・時刻が初期値に戻ることがあります。 ➔ 戻ったときは、ドアホン親機の日付・時刻を設定してください。	19
その他	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	●直らないときは、ドアホン親機の底面にあるリセットスイッチを先端の細いもので押してください。 （録画した画像、登録した設定内容、応答メッセージなどは消えません）	16
その他	ドアホン親機が動作しない ・映像が映らない ・呼出音が鳴らない ・音声が出ない	●電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか？ ➔ 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。 それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	–
その他		●電源直結工事をして、ご使用のとき ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	–
その他	下記のあと、通信にノイズが入るようになった ・ドアホン/電話両用で使っていた子機をドアホン親機または電話/ファクス親機のどちらかで減設した ・ワイヤレスアダプターの設定を解除（減設）した	●ドアホン親機と電話/ファクス親機の距離が近すぎませんか？ ➔ どちらも電波を使う機器のため、子機経由またはワイヤレスアダプター機能で接続した親機同士の接続を解除すると、お互いの電波が干渉することがあります。親機同士を3 m以上離してください。	–

こんな表示が出たら

表示	原因と対応	ページ
未再生の録音がいっぱいです 画像のみ録画しました	●録音がいっぱい(25件)で、これ以上録音できません。 ➔ 録音できるようにするには、[留守]を押して、未再生の留守録画を再生してください。	26
保護画像です 保護を解除してください	●保護画像のため、そのままでは消去できません。 ➔ 保護を解除してから、消去してください。	32
保護画像がいっぱいです これ以上保護できません	●保護画像がいっぱい(20件)になっています。 ➔ 別の画像の保護を解除してから、保護設定してください。 ※ 保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、消去されます。	32
留守の未再生画像があるため 初期化できません 再生してから初期化してください	●未再生の留守録画があると初期化できません。 ➔ [留守]を押して、未再生の留守録画を再生してから、初期化をやり直してください。	26 48
不要なデータを消去中のため 無効です	●ドアホン親機内の録音データを整理中です。 ➔ しばらく待ってから、操作をやり直してください。	–
登録できません	●カメラ/子機/中継アンテナを登録時、またはワイヤレスアダプター機能で電話/ファクスを登録時、指定時間内に登録操作が完了しなかったため、登録に失敗しました。 ➔ 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。 ➔ カメラの場合、ドアホン親機の操作途中でカメラの電源を入れ直し、機器インジケーターがオレンジ点滅(登録モード)※になったことを確認してから、ドアホン親機の残りの操作を行ってください。 ※ カメラの「電源投入時の登録モード」設定が「しない」になっていると登録モードになりません。設定も確認してください。(☞ 68ページ)	56 61 76 78

こんな表示が出たら（つづき）

表示	原因と対応	ページ
登録できるAV機器が 見つかりませんでした	●テレビやレコーダーを登録時、指定時間内に登録操作が完了していません。 ➔ 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。	70 72
接続できませんでした LANケーブルの接続を 確認してください	●LANケーブルが接続されていません。 ➔ LANケーブルの接続を確認してください。 ●カメラ/テレビ/レコーダーまたはネットワーク機器（ブロードバンドルーターなど）の電源が入っていません。 ➔ カメラ/テレビ/レコーダーまたはネットワーク機器の電源を入れてください。	59 －
カメラ番号（1～4） カメラ1に 接続できません 接続できません	●ドアホン親機とカメラ間が正しく接続されていない、またはハブやルーターをご使用の場合に、それらの機器の電源が入っていないなどの可能性があります。 ➔ 90ページの「カメラ/テレビ/レコーダーと通信できない」の項目を参照のうえ、接続や電源を確認してください。	－
■**通話やモニター終了時に下記の表示が出る** 火災警報器が反応しました 外部センサーが反応しました 地震速報を受信しました	●火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応してないか、確認してください。 ●火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応してない場合は、配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	52 －

●以下は、情報表示画面（☞ 81ページ）、ネットワーク情報画面（☞ 48ページ）、カメラ詳細情報画面（☞ 68ページ）を表示させたときに、機器の状況に応じて表示される内容です。

表　示	原因と対応	ページ
LAN未接続 接続を確認してください （情報表示画面/ネットワーク情報画面/カメラ詳細情報画面）	●LANケーブルが接続されていません。 ➔ LANケーブルの接続を確認してください。 ●カメラ/テレビ/レコーダーまたはネットワーク機器（ブロードバンドルーターなど）の電源が入っていません。 ➔ カメラ/テレビ/レコーダーまたはネットワーク機器の電源を入れてください。	59 –
IP重複 設定を確認してください （情報表示画面/ネットワーク情報画面）	●ドアホン親機と同じIPアドレスが、ほかのネットワーク機器にも使われています。 ➔ ドアホン親機のIPアドレスを確認し、※ほかのネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように、再設定してください。 ※ ドアホン親機のIPアドレスを確認するには（☞ 48ページ「ネットワーク情報」）	–
◇時計を設定してください （情報表示画面）	●日付・時刻が設定されていません。 ➔ 日付・時刻を設定してください。	19
中継アンテナ番号（1～2） ◇中継アンテナ1の登録が電話とドアホンで重複しています （情報表示画面）	●ドアホン親機に登録している中継アンテナ（1または2）が、電話/ファクス親機にも同じ番号で登録されています。 ➔ どちらかの中継アンテナを減設し、別の番号で登録し直してください。	77 79
◇中継アンテナ1，2の登録が電話とドアホンで重複しています （情報表示画面）	●ドアホン親機に登録している2台の中継アンテナが、電話/ファクス親機にも同じ番号で登録され、ドアホン親機と電話/ファクス親機で合計3台以上登録されています。 ➔ 中継アンテナは、合計2台までしか登録できません。 合計2台以下になるよう、どちらかの中継アンテナを減設してください。※ ※ VL-SWN355KLの場合、ファクス親機からの減設は（☞「ファクス親機編」89ページ）	77 79

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年（VL-SWN355KLのファクス親機のみ5年）保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の84～97ページ、「子機編」の67～75ページ、「ファクス親機編」（VL-SWN355KLのみ）の98～108ページに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグとACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	パーソナルファクス付テレビドアホン
品　番	VL-SWN350KL	VL-SWN355KL
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	

お願い

- 停電などの外部要因により、録画、録音、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

拠点	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

拠点	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

拠点	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

拠点	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

拠点	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

拠点	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

拠点	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

拠点	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

拠点	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

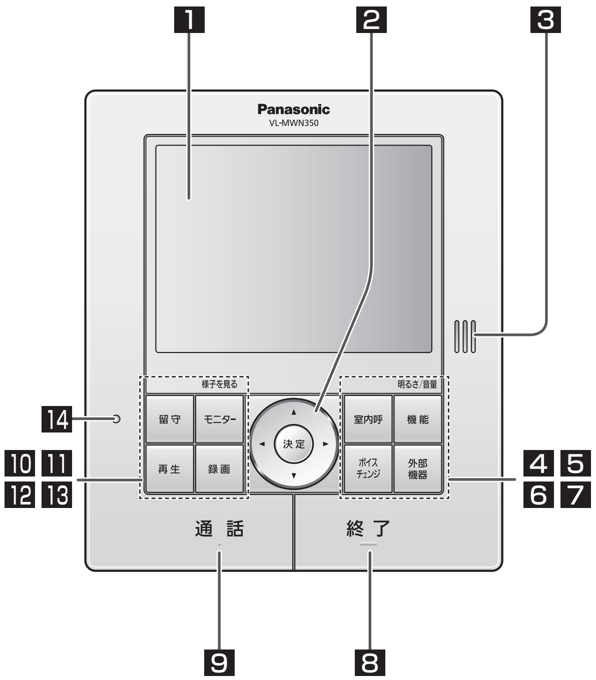
所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0108

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

VL-MWN350KL



1 Display

2 Navigator button

Set button (決定)

3 Speaker

4 室内呼 Intercom button

5 明るさ/音量 機能 Function/Brightness/Volume button

6 ボイスチェンジ Voice change button & indicator

7 外部機器 External button & indicator (To lock/unlock the door, and etc.)

8 OFF button

9 Talk button/Conversation indicator

10 留守 Auto Answer button & indicator

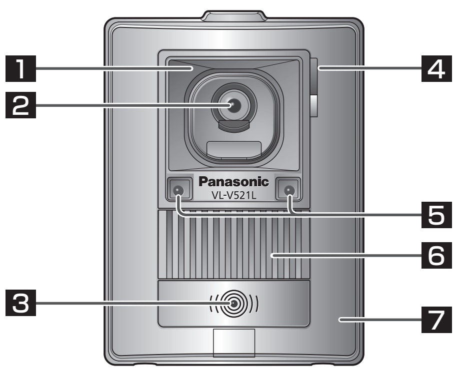
11 モニター Monitor button & indicator

12 再生 Playback button & indicator

13 録画 REC button

14 Microphone

VL-V521L



1 Lens cover

2 Camera lens

3 Call button & indicator

4 Microphone

5 LED lights

6 Speaker

7 Panel

Basic Operations

- The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press [通 話] (9).

■ To monitor outside image

Press [モニター] (11).

(To talk to the visitor, press [通 話] .)

- **An optional camera or more than one optional doorphones are connected**

  After press [モニター] , select a desired doorphone using (2) and press [決定] (2).

■ To monitor a camera image

After press [モニター] , select a desired camera using and press [決定] .

■ To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press [モニター] .

■ To record the displayed image

Press [録画] (13) while the image is displayed.

■ To set up the Auto answer system

When you leave home, press [留守] (10) to turn ON the indicator.

- **To record messages**

  After press [留守] , press [機能] (5).

  ➔ Select［あり（固定） 画像と音声］using , then press [決定] .

■ To cancel the Auto answer system

When you return home, press [留守] to play back the recorded images and cancel the Auto answer.

➔ The recorded images are automatically played back. After all of the recorded images are played back, the Auto answer system is cancelled (the Auto answer indicator turns OFF).

■ To play back the recorded images while the Auto answer system is deactivate

Press [再生] (12). ➔ Select a desired image using .

- **More than one optional cameras are connected**

  After press [再生] , select a desired item using . ➔ Select a desired image using .

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

さくいん

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

■別売品は83ページをご覧ください。

愛情点検　長年ご使用の ワイヤレスモニター付テレビドアホン／パーソナルファクス付テレビドアホン の点検を！

こんな症状はありませんか		
こんな症状はありませんか	●電源を入れても動かないことがある。 ●こげくさい臭いや異常な音、振動がする。 ●電源プラグやコード、ACアダプターが熱を持っている。 ●日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。 ●ファクス親機の記録紙や送信原稿がたびたび詰まる。（VL-SWN355KLのみ） ●その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源プラグとACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	電話（　　　）　　　―

本機の製品情報をホームページで見ることができます。
http://panasonic.jp/door/

●BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
コミュニケーションネットワークカンパニー
〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

SWN350KL

PNQX1065XA　SM0408MT2058

Panasonic®　ワイヤレスモニター付テレビドアホン／パーソナルファクス付テレビドアホン　取扱説明書（ドアホン親機編）